



内定者の声

林野庁総合職技術系
2024年度 内定者一同



はじめに

はじめまして。

この度は、林野庁総合職技術系「内定者の声」をご覧ください、ありがとうございます。

本冊子は、2024年度内定者の実体験を基に、林野庁を志望した理由や、「林野庁で何がしたいのか」を生々の声で伝え、読者の皆さんが林野庁での未来を具体的にイメージできたらという思いから作成いたしました。

ぜひご一読いただき、「国家公務員総合職試験及び官庁訪問」の参考資料としてご活用いただけることを願っております。

国家公務員総合職を志し、試験勉強を開始した頃のことを懐かしく思います。実際、総合職試験や官庁訪問を突破し内定を得るまでの間、玉石混交の情報に触れて、時には不安になりながらも「国家総合職として林野庁で働きたい!」という思いを原動力に、目の前の壁を乗り越えてきました。

この「内定者の声」が、林野庁に限らず国家公務員総合職を目指す、すべての方々の就職活動における一助となれば幸いです。

皆さんが国家公務員試験を通過し、将来、林野庁で共に働けることを内定者一同、心よりお待ちしております。

なお、本冊子に掲載されている情報は、2024年度のもを参考に作成しております。2025年度以降の試験や官庁訪問の詳細については、必ずご自身で下記サイト等で最新情報をご確認ください。また、本冊子の内容は、内定者による個人の経験に基づくものです。参考にしつつ、ご自身に合った方法で取り組んでいただければと思います。

2024年度 林野庁総合職（技術系）内定者一同

詳しい情報について

『林野庁 採用案内』 <https://www.rinya.maff.go.jp/j/kanri/saiyou/>
『人事院 国家公務員試験採用情報 NAVI』 <https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>

目次

1. 林野庁の仕事を知ろう	4
林野庁の説明会	5
就業体験実習	7
2. 国家公務員総合職試験	9
第1次試験	10
基礎能力試験	11
専門多肢選択式試験	12
当日	14
第2次試験	15
専門記述式試験	16
政策論文試験（大卒）	18
政策課題討議試験（院卒）	19
人物試験（人事院面接）	20
3. 官庁訪問	23
事前準備	24
当日	26
4. 内定者情報	30
基本情報	30
併願について	31
5. 内定者プロフィール	34
6. おわりに	44

コラム

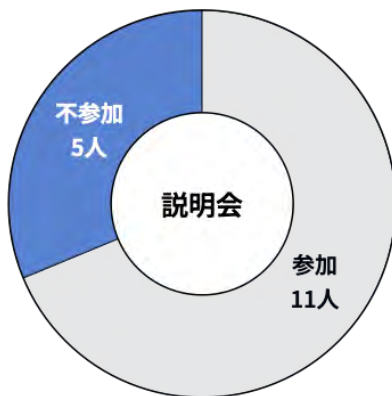
受験票のダウンロード	10
第2次試験の提出書類	15
英語試験による加算	22
内定者の席次	22
地方からの参加者の声	29
就活を頑張っている皆さんへ	43

1 林野庁の仕事を知ろう

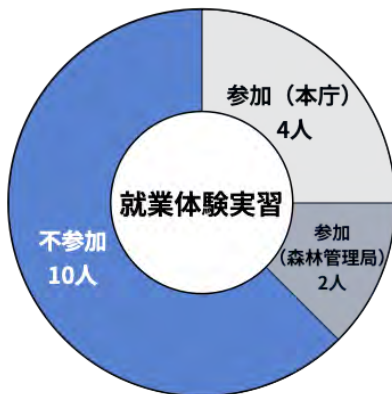
林野庁では、「[説明会](#)」「[就業体験実習](#)」「[職場訪問](#)」などを通じて業務内容等を知ることができます。今年度の内定者もこれらのイベントを通じて林野庁について事前に知り、「ここで働きたい」という思いを持って国家公務員試験や官庁訪問を乗り越えてきました。林野庁にはどんな魅力があるのか、どのような仕事ができるのか、職場の雰囲気は自分に向うのかなど、インターネット上の情報からでは知り得ない現場の声を聞くことができる貴重な機会になります。林野庁に少しでも興味のある方は、ぜひ試験が始まる前の余裕がある時期に積極的に参加し、将来について考えてみてはいかがでしょうか。

以下の図に示すように、今年度の内定者は説明会や就業体験実習に参加してる人が多くいました。また、職場訪問に参加した人も1人いました。この章では、参加人数が多かった説明会や就業体験実習の体験談やオススメポイントなどを紹介していきたいと思います。

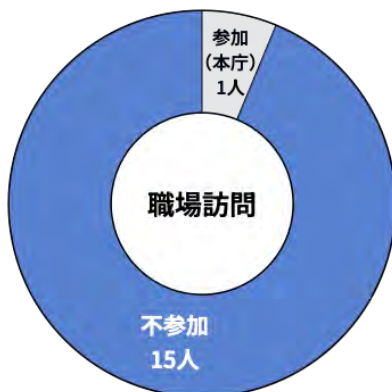
▼ 今年度の参加状況と各種説明



目的	今後の就職活動を行う上での参考として林野庁の施策等をご理解いただくための啓発活動の一環として実施しています。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 林野庁の制度・政策を知る ✓ 業務内容・働き方を知る
時期	通年
場所	全国各地（対面・オンライン）



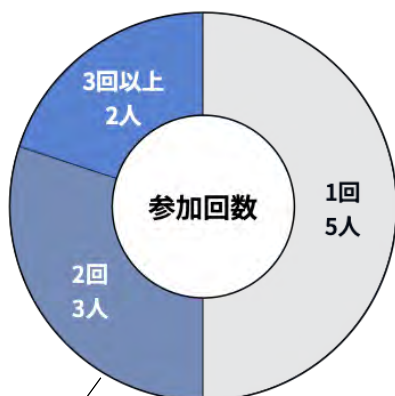
目的	就業体験を通して学生の高い職業意識を育成し、国有林野事業及び林野行政に対する理解を深めていただくことを目的に実施しています。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本庁・森林管理局の業務を知る ✓ 職場の雰囲気がわかる
時期	春期（2～4月）、夏期（7～9月）
場所	本庁、森林管理局



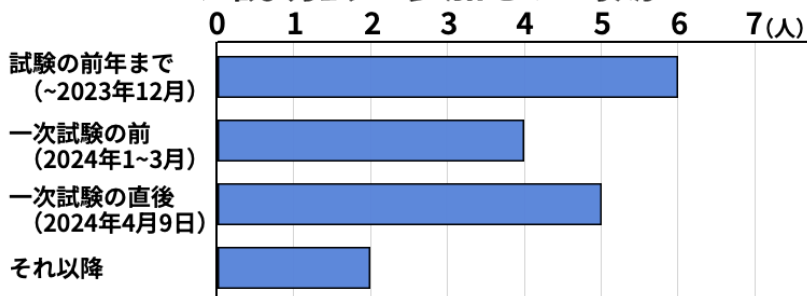
目的	仕事の内容や職員の雰囲気をより良く知ってもらうために実施しています。
ポイント	✓ 1対1で話を深く聞ける
時期	平日の指定する時間
場所	本庁、森林管理局、署（対面・オンライン）

林野庁の説明会

林野庁では、大学での業務説明会や人事院主催の[公務研究セミナー](#)など、通年を通して様々な場所で説明会を開催しています。説明会は、今後の就職活動の参考にしていただくことを目的に実施しているため、参加の有無が今後の採用選考のプロセスに影響することはありません。ただし、林野庁の具体的な業務内容や施策などを知る貴重な機会でもあるので、試験が始まる前の余裕がある時期から、ぜひ積極的にご参加ください。



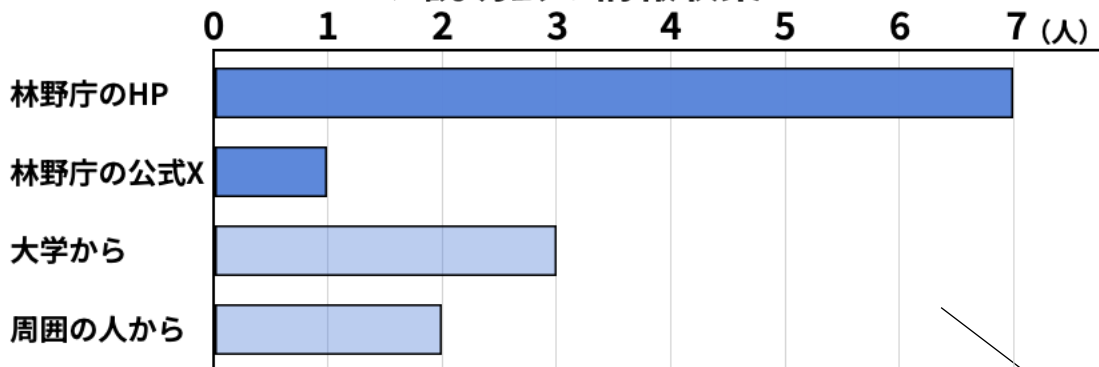
▼説明会に参加した時期



今年度の内定者16人のうち、10人が林野庁の説明会に参加していました。参加回数は1~2回が大半でしたが、3回以上参加した人もいました。特に参加時期については、試験が始まる前（2024年3月）までに参加していた人が多く、1次試験直後の4月9日に開催された説明会にも多くの人に参加していました。

説明会は定期的に対面とオンラインの両方で開催されているため、自身のスケジュールに合わせて参加することが可能です。また、研究や講義などで参加が難しい場合でも、林野庁の採用担当者に連絡を取ることで個別に情報を得ることもできる場合がありますので、検討してみてください。

▼説明会の情報収集



説明会の開催情報については、[林野庁のHP](#)や[林野庁の公式X](#)を通じて随時発信しています。大学や周囲からの情報収集が難しい場合でも、上記の情報源を活用して最新情報を確認してみてください。

1

林野庁の仕事を知ろう

林野庁の説明会

◎参加理由

業務内容を知る／官庁訪問への準備／大学での開催：

- ✓ 地方での業務内容や試験、面接に関して詳しくお伺いしたいと思ったため。
- ✓ 業務内容に関心があったため。
- ✓ 省庁について漠然としたイメージしかなく、具体的な業務内容等を知りたかったため。
- ✓ 林野庁の業務をイメージする良い機会だと思ったため。
- ✓ 対面での説明会に参加することで、林野庁の雰囲気を感じたかったため。
- ✓ 官庁訪問に向けての情報収集のため。
- ✓ 大学に林野庁の方が来られ、説明会を開いてくださったため。

◎参加したメリット

林野庁の業務について：

- ✓ 林野庁の仕事の内容や組織について、おおよそ知ることができました。
- ✓ 1回でも参加しておくで、林野庁についての理解が深まります。
- ✓ 業務について不安点含めて、色々聞くことができました。
- ✓ 具体的に今どういった政策に取り組んでいるのかがわかります。
- ✓ 地方森林官のお話をお伺いでき、現場での業務内容を明確に知ることができました。
- ✓ 林野庁の業務は多岐にわたるので、その内容を体系的にお聞きできました。
- ✓ 対面・オンライン共に説明会の資料を共有していただいたため、林野庁の業務について理解を深めることができました。

モチベーションアップ：

- ✓ 勉強のモチベーションになりました。
- ✓ 林野庁で働きたいと思う意思を強く持つきっかけになります。
- ✓ モチベーションに繋がり、自分のイメージが具体化できます。
- ✓ 実際に職員の方からお話を伺うことで、入庁後のイメージが湧きました。
- ✓ 公式の大きな説明会に参加して友達をつくると情報交換しやすくて良いと思います。

官庁訪問の対策：

- ✓ 林野庁の空気感を知った状態で官庁訪問に臨めました。
- ✓ 面接官の顔を知ることができました。
- ✓ 白書のデータで理解しにくい箇所を直接聞けました。
- ✓ 解像度の高い身上書を書くことに繋がると思います。
- ✓ 自分の関わり方を見定めるいい機会になると思います。

まとめとアドバイス

過去2年間と同様に、今年度の内定者も多くの方が林野庁の説明会に参加していました。林野庁の業務は多岐にわたるため、実際に働いている職員の方から直接話を伺うことで、業務内容をより具体的に把握できる貴重な機会となります。

大学で説明会が開催される場合は情報を得やすいですが、そうでない環境にいる場合でも積極的に情報収集を行い、参加しておくことをおすすめします。また、説明会にただ参加するだけではなく、この機会を活かして、一度は質問をするという姿勢で臨むことも重要です。

1

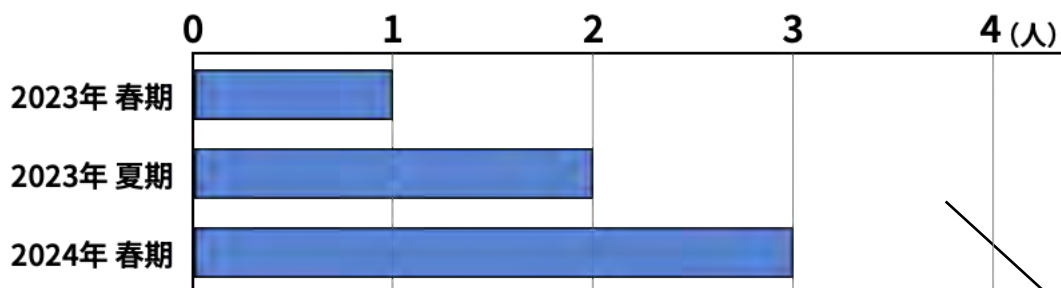
林野庁の仕事を知ろう

林野庁の就業体験実習

林野庁の就業体験実習（キャリア実習及びインターンシップ）では、本庁や森林管理局での業務内容や職場の雰囲気を直接知ることができます。実習を通じて、林野庁の具体的な業務の理解を深めるだけでなく、実際に働いている職員の方々と直接対話する機会もあり、説明会ではなかなか聞けないような貴重な話や経験を共有してもらえることも大きな魅力です。

[林野庁のHP](#)には、実際に参加した方々の声や体験談が掲載されています。興味のある方は、ぜひ一度読んでみてください！

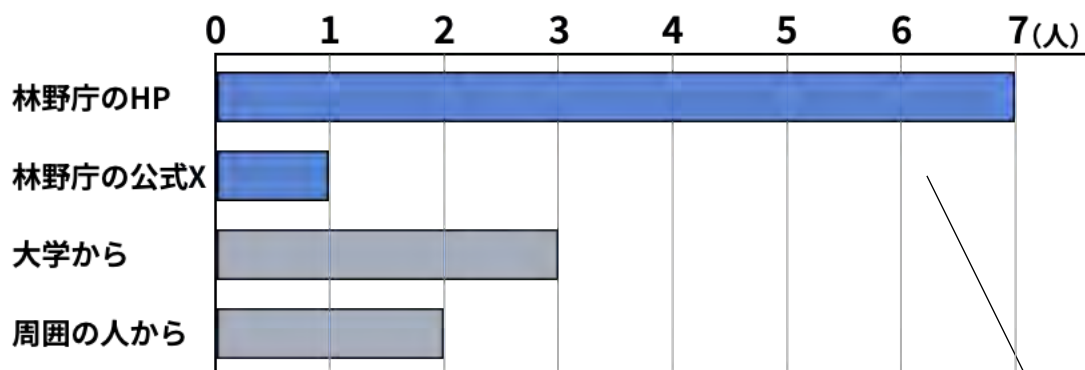
▼ 就業体験実習に参加した時期



今年の内定者16人のうち、6人が就業体験実習に参加していました。また、参加回数は全員が1回のみでした。

就業体験実習は春期と夏期に開催されています。6人が就業体験実習に参加した時期は、「試験の1年前（2023年 春期または夏期）」と「一次試験直前（2024年 春期）」に半々となっていました。

▼ 就業体験実習の情報収集



就業体験実習の情報については、出身大学や先輩などの周囲の人から得ている人も一定数いました。しかし、[林野庁のHP](#)から得た人が多かったため、参加したい方や興味のある方はぜひ一度調べてみてください！

1

林野庁の仕事を知ろう

7

林野庁の就業体験実習

◎参加理由

職場の雰囲気を知りたい：

- ✓ 職場の雰囲気を知りたかったため。
- ✓ 実際に業務を体験し、林野庁の雰囲気を知りたかったため。
- ✓ 林野庁の業務や職場の雰囲気について知りたかったため。
- ✓ 実際に働く職員の方々に囲まれる環境で、林野庁で働く自分をイメージできるかどうか確かめたいと思ったから。

面接対策／業務内容：

- ✓ 今後の面接のときにエピソードとして話せると思ったから。
- ✓ 国有林等で行われている様々な取り組みを実地で学習したいと思ったから。
- ✓ マツ枯れについて、実際に現場に足を運んで学びたかったから。

◎メリット

現場でしか得られない知識・経験：

- ✓ 短時間の説明会だけでは知ることのできない情報を得ることができました。
- ✓ 林野庁の仕事と課題解決のアプローチがわかりました。
- ✓ 森林に関する座学・実習だけでは得られない知識や経験を得ることができます。
- ✓ 字面のみではわかりにくい部分を実際に経験することで勉強することができます。
- ✓ リアルな職場の雰囲気を知ることができました。
- ✓ 職場が良い雰囲気であることがわかることができました。
- ✓ 将来の自分のイメージが明確になり、公務員試験のモチベーションになりました。

質問しやすい環境：

- ✓ 説明会などとは異なり、わからないことや疑問に思ったことをすぐに質問できる環境が良いと思いました。
- ✓ 林野庁で働くことのメリットとデメリットなど、正直な話を聞くことができました。

◎デメリット：

- ✓ 参加による交通費や宿泊費等の出費が発生する点。
- ✓ 交通費や宿泊費等は全て自己負担のため、職場体験プログラムの実施場所が遠方の場合、かなり出費があります。
- ✓ インターン生は各課に自分1人なので、他の参加者と話す機会はありませんでした。

◎参加した感想：

- ✓ 昼休憩の際に、「〇〇課の人に話を聞いてみたいです！」など、自分から積極的に動くよりも実りがあると思います。
- ✓ 私は森林管理署で経験したことに基づいて官庁訪問で話をすることができました。本庁の就業体験実習も重要ですが、本庁・局・署の実習プログラムを比較して、興味のある実習へ参加することが結果的に良いと思います。

2 国家公務員総合職試験

林野庁で働くためには、国家公務員総合職試験に合格する必要があります。この試験に合格し、採用候補者名簿に登録されることで、官庁訪問へ挑戦する権利を得ることができます。林野庁が官庁訪問の対象としている受験区分は「**森林・自然環境**」および「**デジタル**」です。

この章では、国家公務員総合職試験の概要を解説するとともに、今年度の内定者が行った試験対策について詳しく紹介していきます。

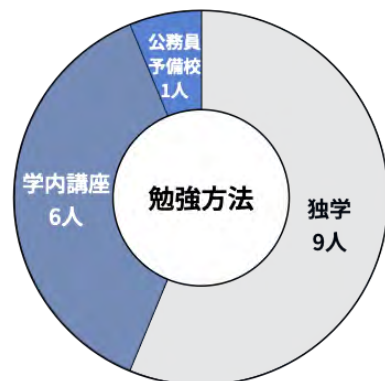
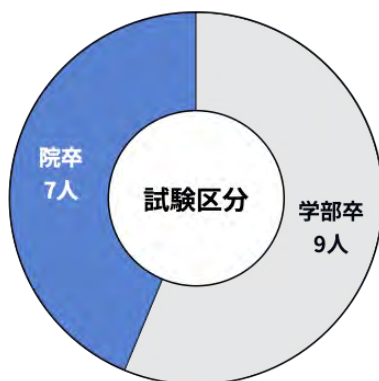
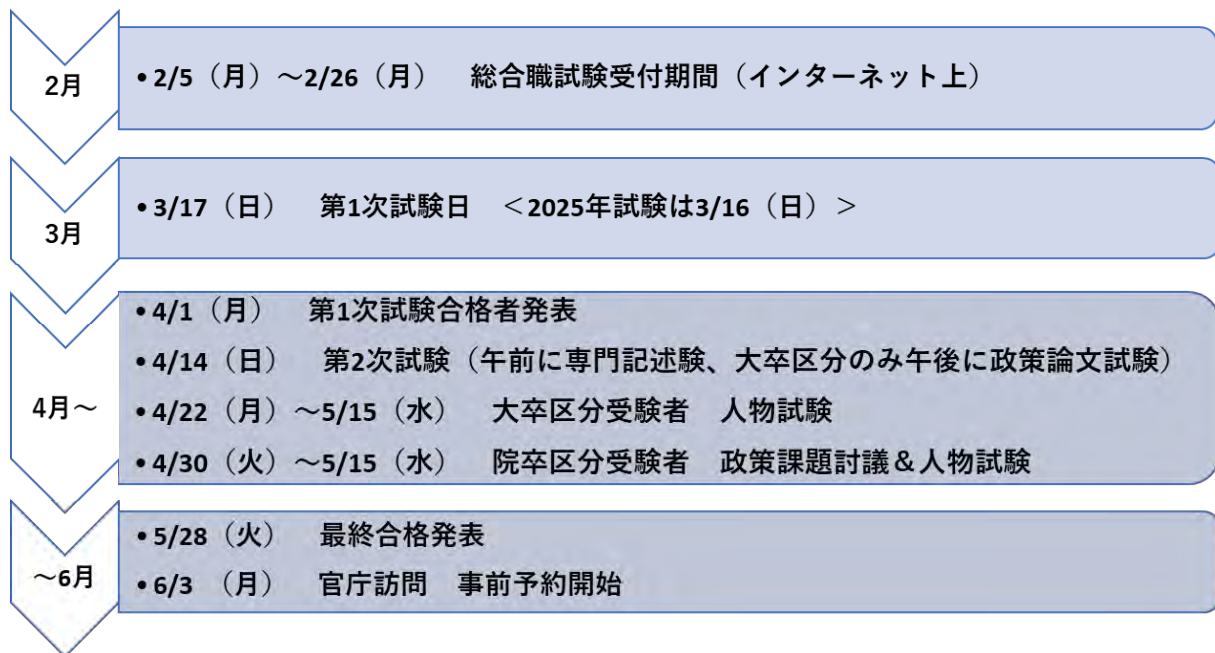
総合職試験の流れ（※2024年度の場合）

①総合職試験申し込み：

人事院の定める期間中に専用アドレスにアクセスし、申し込みを行う必要があります。手続は「事前登録」と「申し込み」の2段階に分かれています。ユーザーIDとパスワード、手続完了メールは必ず保管しておきましょう。

②2次試験：

2次試験は「大卒区分」と「院卒区分」で方式が異なります。詳しくは後述しますが、ご自身の試験方式や試験内容を確認しておきましょう。



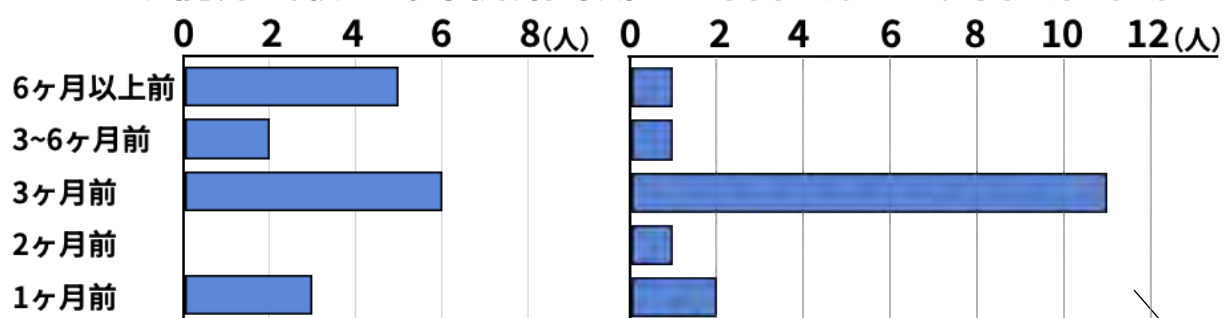
第1次試験

1次試験では、午前に「②専門（多肢選択式）試験」、午後に「①基礎能力試験」が実施されます。試験当日に焦ることの無いよう、事前に当日のスケジュールを把握しておきましょう。また、1次試験の合格者はこの2つ試験の成績を総合して決定されます。

可否の判定には約2週間かかりますが、合格者発表から2次試験までは期間が短いため、1次試験終了の翌日に「国家公務員試験採用情報NAVI」に掲載される正答番号を用いて自己採点を行い、早めに2次試験の準備を始めましょう。なお、**正答番号の掲載期間は1週間**です。問題冊子は持ち帰り可能なため、自分の回答を記録しておくことをおすすめします。

試験名	①基礎能力試験	②専門試験
科目	24題：知能分野（文章理解／判断・数的推理） 6題：知識分野（自然・人文・社会科学／時事）	13題：必須問題 27題：選択問題
試験時間	2時間20分	3時間30分
開始・終了時刻	14：25～17：00	9：00～12：50
形式	多肢選択式（マークシート方式）	

▼ 基礎能力試験の対策開始時期 ▼ 専門試験の対策開始時期



基礎能力試験は、半年以上前から対策を始めた人もいました。この試験では満点を取る必要はないため、合格に必要な点数と自身の得意分野を踏まえて、どの問題を回答するか、いつから対策をすべきかを考えるのが良いでしょう。

専門多肢選択式試験は、3か月前頃から対策を始めた人が多くなりました。大学での専攻や興味がある分野のため、基礎能力試験に比べて対策期間が短い傾向がありますが、ここで確実に点数を取るという手段を取る人が多かったです。

2

国家公務員総合職試験

10

コラム：受験票のダウンロード

国家総合職試験で使用する受験票は、各自インターネットからダウンロードする必要があります。ダウンロードしたものに顔写真を添付し、印刷することによって受験票が完成します。また、受験票をダウンロードできる期間は決められており、これを過ぎてしまうと別途担当者に連絡を取らなければなりません。早めに、必ずダウンロードしましょう！

第1次試験－基礎能力試験

国家公務員総合職の基礎能力試験は、知能分野（文章理解／判断・数的処理）の配点が高い一方、時間制約が厳しいという特徴があります。今年度の内定者16人に、基礎能力試験で最も力を入れた分野について尋ねたところ、全員が出題数が多い知能分野と回答しました。

◎勉強方法

過去問で傾向を知る：

- ✓ 大学の公務員講座で配布されたテキストと過去問題集をひたすら繰り返し解きました。
- ✓ 解法を勉強してから過去問を解きました。
- ✓ 様々なタイプの問題を解き、どのような問題が出てきても大丈夫なようにしました。
- ✓ 文章理解は1週間前から過去10年分程度を一気に読み込んで傾向を掴みました。数学はもう少し前から分野ごとに勉強し始め、各問いに対して解法を用意しておくことで最短で答えを導けるようにしました。

範囲を絞って勉強する：

- ✓ 数的処理と文章理解に時間を費やしました。
- ✓ 直前から準備を始めたので、過去問を中心に苦手分野と必須問題に要点を絞って勉強しました。
- ✓ 知識分野は自然科学と時事に絞って勉強しました。
- ✓ 既存の知識で補える知能分野と自然科学で点数を稼ぐ作戦で行きました。

苦手分野の対策：

- ✓ 文章理解は苦手だったので、週に1回、寝る前に問題集を解くようにしていました。
- ✓ 英語に苦手意識を持っていたため、基礎能力試験の勉強を開始した日から毎日必ず英文を読むなどの対策を行っていました。
- ✓ 数的処理に苦手意識を持っていたので問題集を重点的に解き、苦手なところで失点しないように注意しました。
- ✓ 過去問500を購入して一通り解いた後、解説を読んでも苦手だと感じた分野のスー過去を購入して対策しました。

得意分野の対策：

- ✓ 文章理解は元々得意だったので2日に1回読む程度で勉強しました。
- ✓ 数的処理は得意だったので問題集を1周し、間違えた問題の分野を復習しました。

その他：

- ✓ 電車の中で勉強していました。本番では1問5分以内に解けると良いと聞いていたので、次の駅に着くまでの間に1問解けるように練習していました（ほぼ無理でした）。
- ✓ 通学時間などの空き時間を使って問題を解き、分からない問題は答えを見てインターネットで解法を調べました。
- ✓ 時事問題は過去問や試験前に要点を毎回見直していました。
- ✓ 数的処理・資料解釈・時事は間違えた問題の分野を学内講座の資料で勉強しました。

基礎能力試験で使用した参考書

- ・ 国家公務員総合職試験の過去問：10人
- ・ 国家総合職教養試験過去問500（実務教育出版社）：8人
- ・ 新スーパー過去問ゼミシリーズ（実務教育出版社）：6人
- ・ 速攻の時事（実務教育出版社）：8人

第1次試験－専門多肢選択式試験

国家公務員総合職の専門多肢選択式試験は、「①13題の必須問題」と「②27題（9題×3科目）の選択科目」から構成されています。

①必須問題では、「高校生物・地学分野」「森林に関数する基礎知識」「近年の林業の動向」「山地災害や砂防・流域管理」「自然公園や生物多様性に関する問題」など、幅広い分野が出題されます。一方、②選択科目では、次ページの図に示すように、12科目の中から任意の3科目を選び、解答します。そのため、解答する科目をあらかじめ決めておき、対策範囲を絞ることも有効です。

◎勉強方法

過去問の活用：

内定者のほとんどが過去5～10年分の試験問題を入手して勉強していました。

- ✓ 過去問を解いて傾向を見定めました。
- ✓ 過去問に書き込みを入れてオリジナルテキストを作りました。
- ✓ 過去問を解き、わからないところを調べてまとめ、解き直す作業を繰り返しました。
- ✓ 過去問を解き、間違えた問題の選択肢全てについて調べ、ノートにまとめました。
- ✓ 過去問を解き、正解・不正解に関わらず自分でノートに解答集を作り、赤シートで隠しながら覚える作業を繰り返していました。
- ✓ 各設問で与えられる選択肢の何が間違いで、どうして正解なのかを自分が納得するまで追求しながら勉強をしました。

大学の講義の活用：

- ✓ 授業で白書の勉強をする授業を受講していました。
- ✓ 大学の講義資料や教科書をメインに勉強しました。大学の授業で試験に出やすいところを教えていただいたので、そこを重点的に勉強しました。
- ✓ 白書・必携・ゼミの資料を読んだ上で一般職の試験問題を解き、知らない単語や資料がある場合にはノートにまとめました。

以下の参考書の活用：

- ✓ 最新の情報については森林・林業白書を読みました。
- ✓ 森林・林業白書や森林・林業実務必携を何周も読みました。
- ✓ 森林・林業白書を繰り返し読み、掲載されているデータを頭に叩き込みました。
- ✓ 空き時間に音声読み上げアプリで森林・林業白書を聞きました。
- ✓ ひたすら森林・林業白書と森林・林業実務必携を読みました。暗記すべきところは紙に書き出して常に目に入る場所に貼ったり、暗唱したりしました。
- ✓ 林学を専攻していなかったため、既存知識で補える最初の必須問題でなるべく点数を稼いで、専門記述式の対策も兼ねて森林環境科学と森林資源科学を白書ベースで勉強し、造園計画（自然公園）は捨てました。

専門多肢選択式試験で使用した参考書

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ・森林・林業白書（林野庁）：15人 | ・林政学講義（東京大学出版） |
| ・森林・林業実務必携（朝倉出版）：13人 | ・森林科学シリーズ（共立出版） |
| ・環境白書（環境省）：4人 | ・林業に関する高校の教科書 |
| ・世界森林資源評価（FRA）：2人 | ・砂防学（朝倉出版） |
| | ・自然公園の手引き（電子版） |

第1次試験－専門多肢選択式試験

◎選択科目について

決めた時期：

内定者16人のうち、半数が試験勉強を始める段階で科目を決定していました。一方で、残りの8人のうち4人は勉強を進める中で科目を絞り込み、さらに残りの4人は試験当日に問題を確認してから解答する科目を決めていました。

選んだ理由：

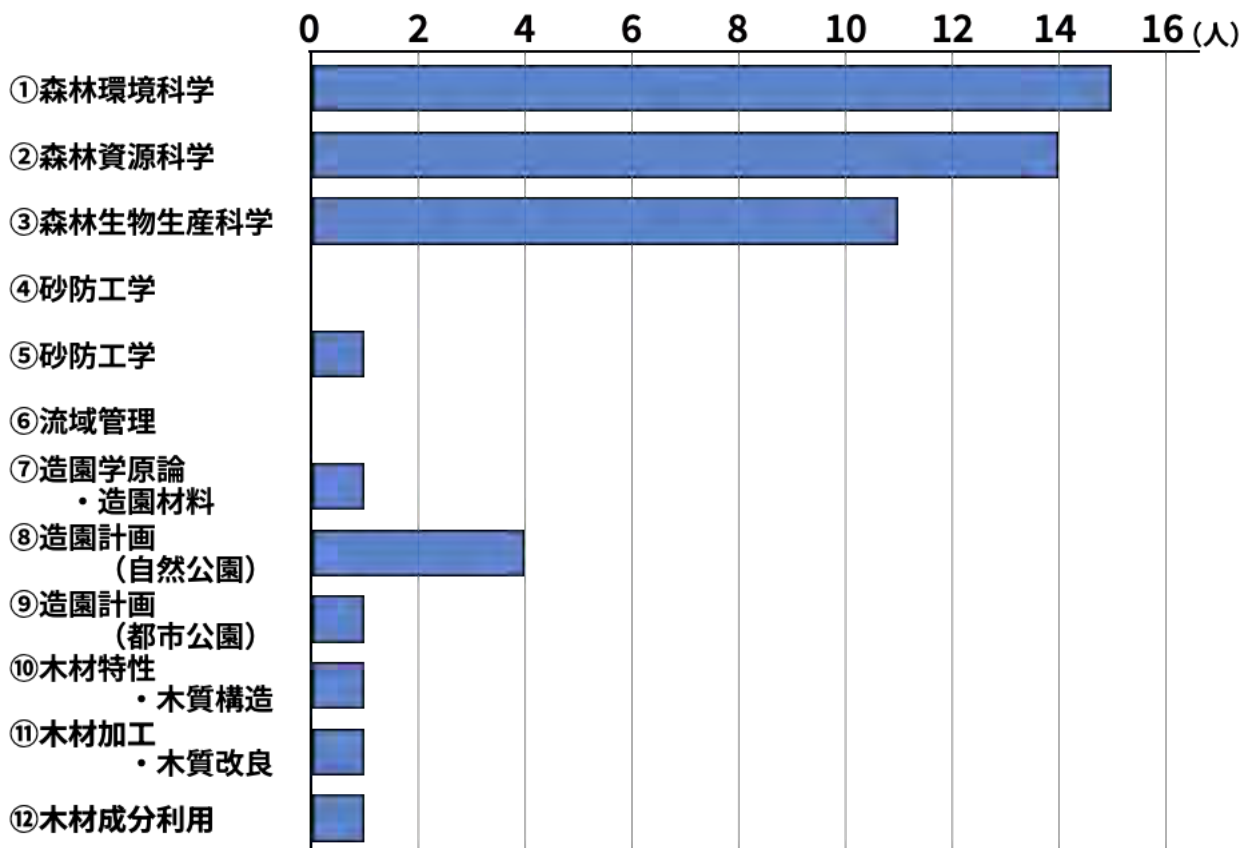
内定者の多くが「大学での専攻分野に近い科目を選択した」と回答しました。また、「志望する林野庁の業務に関連するから」あるいは「自身の興味がある分野だから」という理由で選んだ人もいました。一方、当日科目を決めた人は「試験中に複数の科目を解いた中で、最も自信のある科目を選択した」と回答しました。

科目の組み合わせ：

以下の図に示すように、内定者16人のうち10人が「森林環境科学」「森林資源科学」「森林生物生産科学」の3科目を選択しており、過去2年と同様、この3科目が最も多く選ばれました。また、その他の科目選択の組み合わせ例は以下のパターンがありました。

- ✓ 「森林環境科学」「森林資源科学」「造園計画（自然公園）」
- ✓ 「森林環境科学」「森林資源科学」「木材成分利用」
- ✓ 「森林環境科学」「造園計画（自然公園）」「砂防工学」
- ✓ 「森林資源科学」「森林生物生産科学」「造園学原論・造園材料」
- ✓ 「森林環境科学」「造園計画（自然公園）」「造園計画（都市公園）」

▼ 専門多肢選択式試験の対策開始時期



第1次試験－当日

◎反省点

早めの対策：

- ✓ もう少し前から勉強を始めていれば、苦手分野を捨てずに解けたかもしれないです。
- ✓ 部活動の関係で直前から対策を始めて短期集中的に要領よく勉強することができたものの、大変だったのでもう少し早めに対策に時間を割けたら良かったと思います。
- ✓ 結局どの時期から勉強を始めても試験当日に不安を感じないことはないと思うが、前々から時間をかけて取り組んでいればより自信をもって臨むことができたと思います。
- ✓ 勉強時間が足りず捨て問を作っていました。入庁後も役に立つ知識もあると思うので、余裕をもって勉強しても良いと思います。

その他：

- ✓ 試験前や移動中に手軽に勉強できる簡単な復習道具を持っていけばよかったです。
- ✓ 早めに家を出ていたものの、試験会場の入口を間違えて遠回りしてしまい、会場に到着するのに時間がかかってしまいました。
- ✓ 基礎能力試験の知識分野が予想に反して難しく感じました。ただニュースを読むだけでなく、気になったことは深掘りして調べておけばよかったですと反省しました。
- ✓ 当日に解く問題を変更したことです。得意分野ではあるものの最初に想定していたところとは別の箇所を解いたのはリスクでした。

◎試験当日に心がけたこと

基礎能力試験：

- ✓ 時間配分に気を付けて落ち着いて回答することを心がけました。
- ✓ 時間が足りないのでわからない問題は勘で選択肢を選び、後から考え直しました。
- ✓ できる問題から解き、必ず解いた過程を書いて1回以上は見直しをしました。
- ✓ ほかの分野を早く終わらせて数的処理・判断推理に時間を割り、わからない問題はすぐに飛ばしました。

◎試験会場の様子：

- ✓ 試験会場が想像よりも寒く、ダウンジャケットを着用したまま試験を受けました。
- ✓ 受験分野は人が少ないので、試験会場には知り合いがいて少し気が紛れました。
- ✓ 私は京都大学で受験をしたのですが、かなり人が多かったイメージです。
- ✓ 人が多い試験地で受験する場合は、耳栓かノイズキャンセリング機能の付いたイヤホンなどがあると周りの雑音が気にならず、午後の試験に向けて集中できると思います。

まとめとアドバイス

基礎能力試験は時間が足りないことが多いので、問題の取捨選択が重要です。すべてを解こうとせず、得意な分野を優先的に解くことで効率的に得点を稼ぎましょう。一方、専門多肢選択試験は時間に余裕があるので、落ち着いて確実に得点することを心がけましょう。焦らず丁寧に問題を解くことがポイントです。

試験当日のパフォーマンスは、体調や周囲の環境に左右されることが多いです。リラックスできるルーティンを事前に決めておくことや、試験前に落ち着ける行動をとることで、集中力を高める環境を整えましょう。そして、「普段通り」を意識して試験に臨み、無事に第一次試験を突破してください！

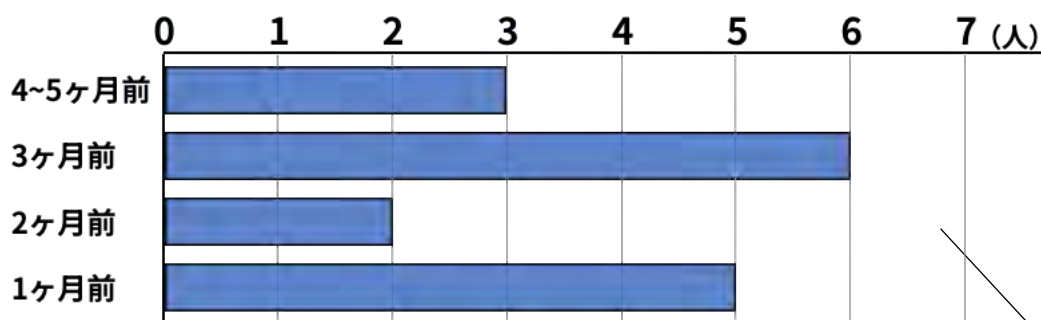
第2次試験

2次試験では、「①専門記述式試験」「②政策論文試験（大卒）または政策課題討議試験（院卒）」「③人物試験」の3つの試験が実施されます。なお、2次試験は複数日に分けて実施されるため、日程を間違えないように気を付けましょう。

試験名	①専門記述式試験 (+性格検査)	②政策論文試験（大卒）	③人物試験
内容	2題	1題	人事院の 個別面接
試験時間	3時間	2時間	—
日程	同一日		別日

試験名	①専門記述式試験 (+性格検査)	②政策課題討議試験（院卒）	③人物試験
内容	2題	レジュメ作成 個別発表・グループ討議	人事院の 個別面接
試験時間	3時間	おおむね1時間30分	—
日程	別日	同一日	

▼ 専門記述式試験の対策開始時期



専門記述式試験は、1次試験と並行して勉強した人が多くなりました。しかし、2次試験では記述力が求められるので、専門多肢選択式試験よりも早い、半年近く前から対策を始めた人も多くいました。

2

国家公務員総合職試験

15

コラム：第2次試験の提出書類

総合職試験では、人事院面接の開催日に様々な書類を提出しなければなりません。準備に時間のかかるものもあるので、余裕を持って準備するようにしましょう。

- ①面接カード×3部 ②英語試験申請書（総合職） ③採用志望カード
- ④証明済みの住民票記載事項証明書 ⑤大学及び大学院の卒業証明書または卒業見込証明書

第2次試験－専門記述式試験

国家公務員総合職の専門記述式試験（森林・自然環境区分）では、4科目の中から1科目を選択し、1科目ごとに用意されている3つの問題から、任意の2題を選び、解答します。

◎勉強方法

過去問の活用：

内定者の多くが多肢選択式試験と並行して勉強していました。

- ✓ 森林現況と制度の関係がわかるように1次試験で作成したノートをまとめ直しました。
- ✓ 過去問を10年分ほど解いて自分で解答集を作成し、長い文章を丸暗記して覚えました。
- ✓ 過去問を解き進めるうちに似た問題が出題されることに気づいたので、関連する問題はリンクさせて解き直すようにしていました。

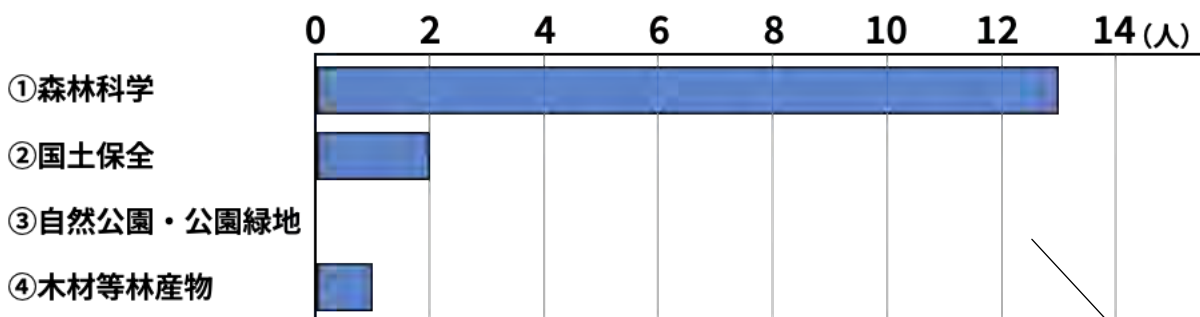
白書の活用：

- ✓ 白書を読んで最近の動向を把握しておきました。
- ✓ 白書を読み込んで記述できるようにしておくことが1番の近道です。
- ✓ 白書の特集ページの内容は大事な文章を覚えてそのまま書けるようにしました。
- ✓ 白書の中から、「林野庁」「令和」と記載がある項目を抜き出し、最新の政策をまとめました。

記述の練習：

- ✓ 原稿用紙を買ってきて、過去問10年分を解きました。
- ✓ 大学教授から作文のテーマを貰って解答を作成しました。また、試験当日は手書きで解答を作成するので、手書きのみで文章を作成することを心がけました。

▼ 専門記述式試験の選択科目



科目を選択した理由には、「すべての問題をサラッと目を通し、最も自身があったから」「自分の専攻分野かつ、一次試験での勉強を活かしたから」という回答がありました。

専門記述式試験で使用した参考書

- ・ 森林・林業白書（林野庁）：16人
- ・ 森林・林業実務必携（朝倉出版）：12人
- ・ 環境白書（環境省）：3人
- ・ 世界森林資源評価（FRA）：2人
- ・ 林政学講義（東京大学出版会）
- ・ 情報誌「林野」（林野庁）
- ・ 森林科学と森林経営の教科書
- ・ 木質化学講座（海青社）

第2次試験－専門記述式試験

◎反省点：

- ✓ 焦っていたので内容を吟味せず思いついたままに書いてしまった箇所がありました。
- ✓ 時間配分をミスした時の対策をあまり考えていませんでした。
- ✓ 筆圧を抑える練習をしておけばよかったです。
- ✓ 民間の就活と時期が重なっていて、気持ちを試験に向けることが難しかったです。
- ✓ 解答用紙が方眼紙でも罫線でもなく、特殊な罫線だったため、書き方がよく分かりませんでした。

◎試験当日に心がけたこと

解法：

- ✓ 書くスペースの配分や、要点を押さえた記述を心がけました。
- ✓ 書く内容を決めてから書き始め、迷ったら手を止めること、文章を消している時間をできるだけ削減することを心がけました。
- ✓ 自分が書きたいことをまとめて、ゴールを見据えてから書き始めました。
- ✓ 知識があやふやで自信がないときは無理して書こうとせず、知っていることだけを確実に書いていくことを心がけました。
- ✓ とにかく回答時間いっぱいまで情報を詰め込んで解きました。

記述に関して：

- ✓ 誰が読んでも分かりやすく丁寧な文字で書くこと、採点者にわかりやすいように書くことを心がけました。
- ✓ 焦らず誤字脱字には注意し、時間を常に気にすることを心がけました。
- ✓ 文章を書く量が多いので、試験前に手をよくほぐしていました。
- ✓ 大卒区分では専門試験と政策論文試験が1日のうちに実施されるため、たくさんの両を書く練習を行うことをおすすめします。

◎適正検査について：

- ✓ 専門記述式試験の前に性格検査がありました。性格検査があるのを知らず、すぐに終わると思っていたので、意外と時間がかかった印象でした。
- ✓ マークシートで行われた性格検査は時間が短く解答が大変でした。

まとめとアドバイス

・知識は幅広く！

一次試験で身につけた知識をベースに一つの分野に集中して勉強するのではなく幅広い分野についての知識を身につけるようにするべきだと思います。問題との相性は人それぞれですので、解けなさそうと思ったら別の問題にシフトするのは一つの手だと思います。その年の白書で書かれていたことについて出題されたので、やはり白書を読み込むことはマストだと思います。

・記述の練習を！

とにかく記述をするのが大変なので、普段から記述する練習をしておくことをおすすめします。

第2次試験－政策論文試験（大卒）

政策論文試験は、大卒程度試験の受験者を対象とした試験です。試験時間は2時間で、1題の論文試験を解答します。政策の立案に必要な能力や、その他総合的な判断力及び思考力について問われる筆記試験です。なお、答案作成時の参考資料には英文も含まれます。

◎対策方法：

政策論文試験の対策はほとんどせずに、専門記述式試験や人物試験に力を入れた人も一定数いました。しかし、「今年度の試験は比較的書きやすい内容であったため回答できたが、やはり準備不足は感じた」と回答していたので、問題の傾向や形式などの基本的な情報は調べといた方が良いでしょう。

- ✓ 過去問を活用し、インターネットから類題を探して練習しました。
- ✓ 原稿用紙を買ってきて、時間を計って過去問10年分解きました。
- ✓ 公務員講座で配信された映像授業を利用しました。
- ✓ どんな出題にも対応できるように政策論文で評価される型を勉強しました。
- ✓ インターネットで大まかな傾向などを掴みました。
- ✓ 新聞、テレビやネットニュースをまんべんなく読みました。特に、ネットニュースはスマートフォンで手軽に大量の情報を得られるため、通学時間に目を通していました。

◎反省点：

- ✓ 時間配分の対策が不十分でした。
- ✓ 最低限、過去問に目を通して作文しておくことくらいは必要だと感じました。

◎試験当日に心がけたこと：

- ✓ しっかり文意を読み取って、採点者にわかりやすく書くことを心がけました。
- ✓ 誤字脱字は絶対しないこと、常に時間を意識することを心がけました。
- ✓ 自分が書きたいことの要点を書き出し、構成を決めてから書くことを心がけました。
- ✓ 当日の資料を元に、行政官として何が求められているかを把握した上で解答を作成できるように心がけました。
- ✓ 資料が掲載されているので、文章の内容把握をしっかりと行い、論点にズレが生じないように気をつけました。
- ✓ 「国家公務員としての政策論文である」ということを念頭に置いて記述することで、意見の方向性がずれずに解答できました。
- ✓ 国家公務員として適切な意見を心がけました。対応策として取るべき手法はある程度決まっているので、それを体系化して、その中から選べるようにしました。

◎試験の感想：

- ✓ 意外と周りの書く音が早くに静かになって焦りました。
- ✓ 私の経験談ですが、政策論文試験を軽く捉えていると痛い目を見ます。
- ✓ しっかり文意を読み取って、採点者に分かりやすく書くことを意識しました。

政策論文試験（大卒）／政策課題討議試験（院卒）で使用した参考書

- ・ 公務員試験 論文・面接で問われる行政課題・政策論のポイント（実務教育出版）：2人
- ・ 寺本康之の小論文バイブル（エクシア出版）
- ・ [インターネット](#)の情報

第2次試験－政策課題討議試験（院卒）

政策課題討議試験は、院卒者試験の受験者を対象とした試験です。5～6人1組で与えられた課題について討論し、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力について問われる試験です。以下の表に、試験の流れを示します。

試験の流れ		時間
1	配布資料を参考に課題への賛否とその理由についてのレジュメを作成	20分
待機＋部屋の移動		
2	5～6人1組でグループ全員分のレジュメを黙読	2分
3	自分のレジュメ（意見）についてプレゼン	3分/1人
4	討議	30分
5	討議の内容を踏まえて、自分の考えをまとめる	5分
6	まとめた考えを発表	2分/1人
部屋の移動＋人事院面接に向けて待機		

◎対策方法

レジュメの作成：

政策論文試験と同様、対策をしている人は少ない傾向がありました。しかし、グループディスカッションは特に慣れない人が多いと思うので、特にグループで話すことが苦手な方は情報収集が大切だと思います。

- ✓ 「一番上に自分の立場」「次にその理由」「最後に考えられる反対意見」の3段落構成で記述する練習をしました。
- ✓ インターネットの情報を参考に、時間を計りながら作成の練習を行いました。

グループディスカッション：

- ✓ 友達に当日の流れや雰囲気について聞いて情報を集めました。
- ✓ 大学のGD対策講座と民間企業の選考で練習しました。
- ✓ 大学のキャリアサポートを利用し、模擬のグループディスカッションを行いました。
- ✓ 大学で政策課題討議試験を受ける人が自主的に集まって対策会をしていました。

◎反省点

- ✓ 行政課題に対してどういう視点で議論をするべきなのかが定まらないままディスカッションが進んでしまいました。
- ✓ 制限時間内に自分の意見を述べる時間がありましたが、時間をオーバーしてしまい、話の途中で途切れてしまいました。

◎試験で心がけたこと

- ✓ 相手を言い負かすのではなく、全員で話し合うということを意識しました。
- ✓ 個人戦ではないため、グループ全員が発言できるよう、発言していない学生には積極的に話しかけて意見を求めました。
- ✓ 緊張しているのは全員同じなので、待機時間に交流するなどして緊張を和らげるのも作戦だと思います。

※参考書は前ページにまとめて掲載しています。

第2次試験－人物試験（人事院面接）

人物試験は、受験者1人に対して面接官3人で行う、15~20分程度の面接試験です。面接カードは、事前にインターネットからダウンロードして記入します。当日は原本とその写しを提出し、それを基に面接試験が行われます。面接試験は対面形式で行われます。入室の方法など基本的な所作を事前に調べておくことを忘れないようにしましょう。

◎面接カードの準備

添削をしてもらった：

- ✓ 民間のESを参考に作成し、就職キャリアサポートに2回ほど添削してもらいました。
- ✓ 大学生協が開催する公務員講座で先輩方の面接カードを見せてもらいました。
- ✓ 大学のキャリアサポートを利用し、添削を複数回していただきました。
- ✓ 1、2回ほど研究室の教授にも目を通してもらいました。

作成方法：

- ✓ 書くスペースが意外と少ないので文章の内容は何度も推敲し、必要な情報とそうでないものの取捨選択を主に行いました。
- ✓ 各項目について字数を考えずに書き出してから規定字数に収まるように修正しました。
- ✓ 面接カードの見本を参考に準備しました。自身のこれまでを振り返り、面接で使えるネタをカードに盛り込みました。
- ✓ 基本的な項目（ガクチカ等）しか書く欄がなかったので、読み手に伝わりやすいように簡潔に、キーワード等を用いて記述することを心がけ、質問してもらいたいことを誘導できるような構成にしました。

◎面接の対策

模擬面接：

- ✓ 大学の公務員講座の先生と何回も練習しました。先生だけでなく研究室の同期など、自分のことをよく知っている人に練習を手伝ってもらおうと、より内容が深く掘り下げられると思います。
- ✓ 公務員講座の職員の方に面接官役になっていただきました。
- ✓ 大学のキャリアサポートを利用しました。面接カードを利用しながら模擬面接を行い、フィードバックしていただきました。

自分でできること：

- ✓ 自宅ではスマートホンで撮影しながら話す練習をし、表情や声色の改善に努めました。
- ✓ 想定質問集を作成して、どんな質問が来ても大丈夫なようにしました。
- ✓ 民間企業の面接を受けて、面接に慣れました。
- ✓ どのような質問が来るのかについて、自分で考えたり、インターネットで情報収集をしてシミュレーションをしました。

人事院面接で使用した参考書

- ・ 公務員試験 現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本（実務教育出版）：4人
- ・ 現職人事が書いた「自己PR・志望動機・提出書類」の本（実務教育出版）
- ・ 受験ジャーナル（実務教育出版）

第2次試験－人物試験（人事院面接）

◎反省点

想定外の質問：

どれほど入念に対策を行っても必ず想定外の質問が飛んできます。その際は慌てて答えるのではなく、落ち着いて冷静に質問の意図を汲み取って回答しましょう。

- ✓ 自分の短所を言われて「それは公務員適性ないのでは？」と言われて少し緊張したので、基本的に落ち着いた方が良いと思います。
- ✓ 民間企業の面接と人事院面接の明確な違いを言語化せずに臨んでしまった。
- ✓ 最初に、「待機中は何をしていたか？」と聞かれ、面接シートに関係ないことも聞かれるのかと驚きました。どのような意図があったのかが気になったので、面接終了後にインターネットで調べて見たところ、面接のアイスブレイク等で用いられる質問であることを知り、面接についてもっと調べておけばよかったと反省しました。
- ✓ 志望動機を聞かれなかったので、少々面喰いました。

待ち時間：

面接順が後ろの場合は待ち時間が長くなる場合もあります。待機中は携帯電話を操作できないため、想定問答集などを準備しておくが良いと思います。

- ✓ 長時間待つ可能性があることも把握しておく必要があると思います。
- ✓ 待ち時間に参照できる書籍やプリントがあった方が絶対に良いと感じました。

◎当日に心がけたこと

相手にはっきりと思いを伝える：

- ✓ 素直に大きな声で返答することを意識しました。
- ✓ 早口にならないよう、ゆっくり分かりやすく話すことを心がけました。
- ✓ 顔がこわばらないよう、声が小さくならないように心がけていました。
- ✓ 面接シートには自分がこれまで努力してきたことを正直に記入したので、10～20分の短い時間で自分の人柄を最大限伝えられるように自分らしく挑みました。
- ✓ きちんとコミュニケーションをすること、相手の意図を汲み取り適切に解答することを心がけました。
- ✓ 緊張はするけど落ち着くこと、背筋伸ばして口角上げて面接官の目を見て答えることを心がけました。

その他：

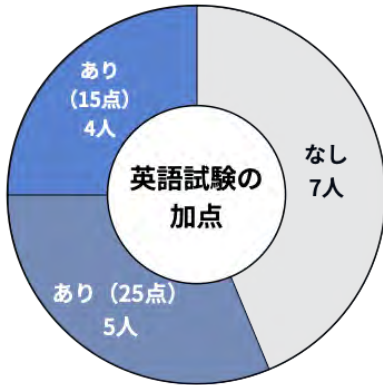
- ✓ 作成した想定質問集を忘れないようにしました。
- ✓ トップバッターだったので、早く面接を終われると思い、気を紛らわせてました。
- ✓ これまでの練習を信じて、本番前に詰め込まず、リラックスすること。

◎面接を終えた感想

- ✓ 想定外のケースもあり得るので、落ち着いて対処すると思います。
- ✓ スーツやシャツの皺はしっかり取り、革靴は磨いて面接に挑むことをおすすめします。
- ✓ 内容どうこうより、面接する姿勢やコミュニケーション能力を意識したほうが良いと思います。
- ✓ 張り詰めた空気感はなく、会話をしているような感覚で自分の経験を伝えられたので、これまでやってきたことを自信をもって伝えられれば良いと思います。

コラム：英語試験による加算

国家公務員総合職試験では、外部英語試験のスコアに応じて最大25点の加算を受けることができます。加算を求める場合には、スコア証明書の原本とその写し等を第二次試験の人物試験の際に提出する必要があるため、詳細は受験案内をご確認ください。



過去2年間と同様に、今年度の内定者も過半数以上が英語試験による加算を受けていました。

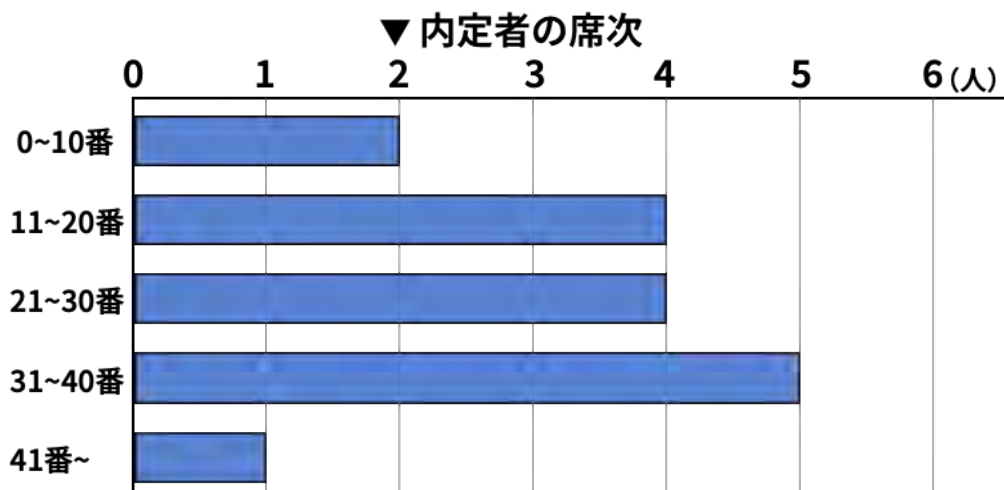
提出可能な英語試験の有効期限は長く、加算基準も厳しいものではないため、時間に余裕があるうちに受けておくことをおすすめします。

コラム：内定者の席次

第1次試験から第2次試験まで全てを終えて最終合格すると、**国家公務員総合職試験の得点及び席次**が記載された**合格通知書**が発行されます。この通知書は官庁訪問や採用手続きの際に必要な場合があるため、必ずダウンロードし、大切に保管してください。

受験者の皆さんの中には、内定者がどの程度の順位で国家総合職試験を通過したのかが気になる方も多いと思います。そこで、以下の図に今年度の内定者の席次を参考として掲載しました。試験年度や区分が異なるため単純に比較することは難しいですが、必ずしも成績が上位の者が採用されているわけではありません。

実際、林野庁の採用基準は試験の順位や学歴を判断材料としておらず、人物本位の選考を行っています。得点や席次に一喜一憂せず、官庁訪問に向けた準備に取り掛かりましょう！



3 官庁訪問

国家公務員採用試験の「最終合格＝採用」ではありません。国家公務員として働くには、必ず「官庁訪問」に参加し、志望する省庁から内々定・内定を獲得する必要があります。

官庁訪問は、志望する省庁の第一線で活躍されている職員から業務説明や面接を受ける、いわゆる採用選考活動になります。また、国家公務員の業務は省庁ごとに多様であるため、各省庁が「受験者がその省庁の行政を推進する人材として適しているか」を判断すること、受験者が「訪問省庁の職務が本当にやりたいことか」「自分に合う職場か」を見極めることを目的とした「各省庁と受験者のマッチング」を図る場でもあります。

おそらく、最後にして最大の壁になると思います。受験者のみなさんがこの機会を活用して志望省庁に関する知識や理解をより深めると共に、積極的に自分の思いや能力をアピールして悔いの残らない選択ができるよう、今年度の内定者の経験を詳しく紹介していきます！

林野庁の官庁訪問の流れ（※2024年度の場合）

①事前予約：

農林水産省が定める期間中に予約フォームの登録＋身上書の提出を以て事前予約を完了させると、第一クールの訪問日時等の詳細連絡が来ます。なお、第一クールの訪問形式は、対面またはオンラインを選択することができます。

②官庁訪問当日：

林野庁の官庁訪問は表の赤枠に示すように、第一・第二クールの採用面接を通過した後、第四クールの訪問を以て内々定といった流れになります

▼ 林野庁の官庁訪問スケジュール

2024年																														
5月											6月																			
28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
						←①事前予約期間→							←②官庁訪問期間→																	
最終合格者発表						事前予約開始						事前予約・身上書			第一クール			原則接触不可			第二クール			第三			原則接触不可			第四
																1日目	2日目	3日目				1日目	2日目	3日目	休み					

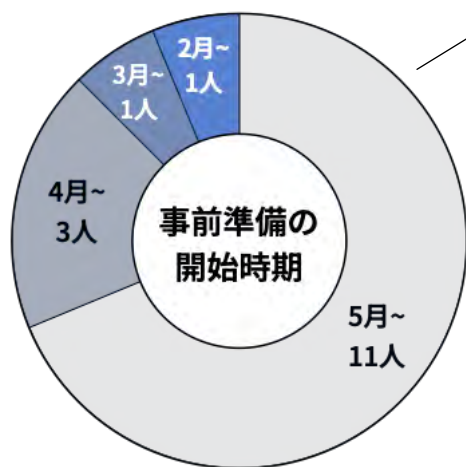
※「同一日に複数省庁の予約は不可」「同一省庁の訪問は各クール1回まで」などの官庁訪問ルールに従い事前に準備することがたくさんあるので、最終合格者発表前から官庁訪問や各省庁の情報を収集しておくことが推奨されています。

※林野庁では例年、6月上旬の「既合格者向けの官庁訪問」は実施されていません。過年度合格者の方は通常の官庁訪問にご参加ください。

事前準備

林野庁の官庁訪問は、事前に記入・提出した**身上書**（エントリーシート）に沿って面接が進められます。今年度は、「林野庁の志望動機」「学生時代に力を入れて取り組んだこと」「セールスポイント」「長所や短所」といった一般的な問いから、「**あなたが考える林野庁が対応していくべき課題とその解決方法**」のような専門的な見解についても問われました。

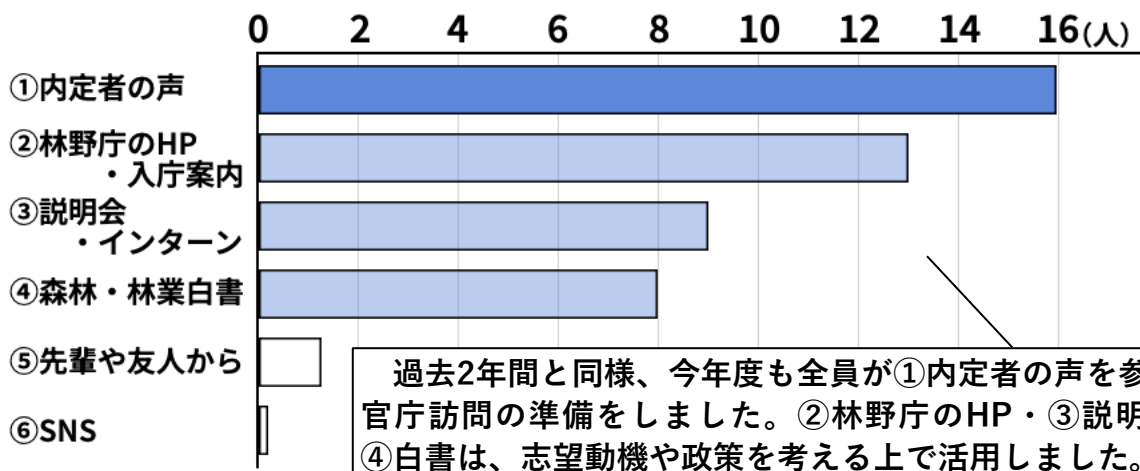
面接では、「**入庁後に何をしたいのか**」「**なぜ林野庁でなければならないのか**」「**自分にはどのような素質があるのか**」といった情報を短い時間で簡潔に述べるのが求められます。したがって、官庁訪問の面接で最高のパフォーマンスを発揮するためには、事前準備である「**身上書の作成**」と「**面接の準備**」が非常に重要となってきます。今年度の内定者も様々な人にアドバイスをもらうなどして改善を重ね、それぞれ最善のやり方で準備をしていました。



今年度の内定者の多くは、最終合格者発表の5月28日以降から約2週間かけて官庁訪問に向けた準備をしていました。しかし、一次試験の合格者発表があった4月、もしくはそれ以前から余裕をもって準備を始めた人も一定数いました。

身上書の様式は年度ごとに若干異なりますが、**過去の身上書**を基に、事前に作成・添削の練習をした人もいました。このように、身上書の公開後すぐに提出できるように事前準備をしておく、面接準備に十分な時間を割くことができ、希望日にも訪問しやすくなるので良いと思います。

▼ 官庁訪問に向けた情報収集



過去2年間と同様、今年度も全員が①内定者の声を参考に官庁訪問の準備をしました。②林野庁のHP・③説明会・④白書は、志望動機や政策を考える上で活用しました。

官庁訪問で使用した参考書

- ・公務員試験 現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本（実務教育出版）：3人
- ・公務員試験 論文・面接で問われる行政課題・政策論のポイント（実務教育出版）：1人

事前準備

◎対策方法

身上書の作成方法：

- ✓ 限られた字数内に文章をまとめるのが意外と大変で時間が掛かりました。あらかじめ自己分析はやっておいた方が良いでしょう。
- ✓ 「自分が何をしたいか」などを改めて整理してから身上書を書き始めました。
- ✓ 各項目について字数を考慮せずに書き起こして、規定字数に収まるよう修正しました。
- ✓ 与えられた設問に対して複数の案を作成し、最適だと思ったものを採用しました。
- ✓ 林野庁の政策と自分の考えとの共通点を書き出し、志望理由を充実させました。
- ✓ ガクチカや自己PRは人事院面接の面接カードをベースに、専門的な部分は試験対策や授業で学んだことと絡めて、教授にアドバイスをもらいながら作成しました。

身上書で心がけたこと：

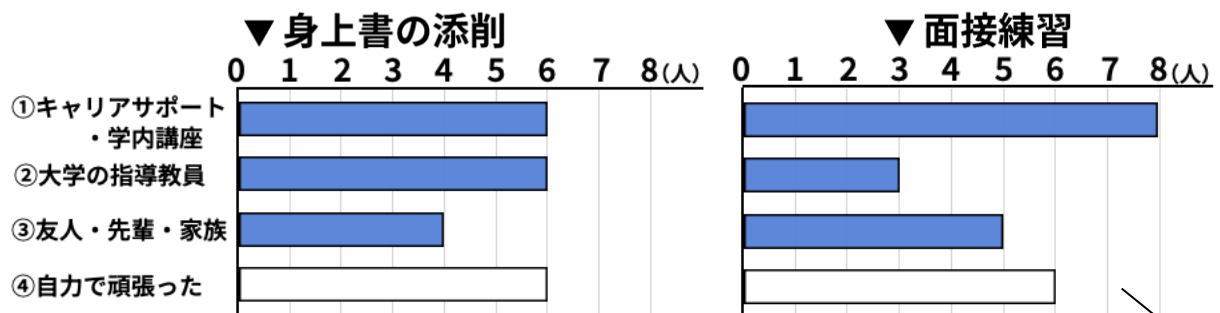
- ✓ 「自分の経験や強みをどのように活かすのか」「何がやりたいのか」「林野庁で何ができるのか」を深掘りし、説得力のある文章にすることを心がけました。
- ✓ 白書で最近の動向を調べ、その内容に基づいて自分の考えを述べるようにしました。
- ✓ 面接で聞かれそうなことを見越して書きました。特に、「自分の興味があること」や、「職場体験プログラムを通して感じたこと」を中心に書くようにしました。

想定質問への対策：

- ✓ 深掘りされても問題ないように事前に身上書に沿った想定質問集を作成し、その回答についても考えておきました。
- ✓ 身上書や学内講座の過去の資料を参考に、質問されそうな想定問答集を作成しました。また、自分の中で「この要素は必ず伝えたい」という項目は明確にしておきました。

面接の練習：

- ✓ 志望動機は必ず聞かれるので1分程度で話せるように文章を丸暗記しました。それ以外は要素を抽出し、自分の言葉で伝えられるように何度も口に出して練習しました。
- ✓ 専門的な内容の説明は分かりにくいので、多くの人に聞いてもらうようにしていました。
- ✓ 自宅ではスマートフォンで顔を撮影し、表情や声色を確認しながら練習していました。



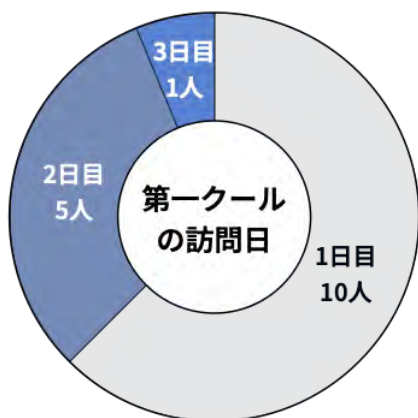
内定者の声などで情報収集をして自力で事前準備をした人もいますが、さまざまな人に見てもらうことは、自分では気づかなかった視点からのアドバイスをもらえることが多いので、想定質問への対策にもなり非常に有効です。

身上書では、特に政策について述べる部分について、②大学の指導教員からアドバイスをもらった人が多くいました。一方、面接練習は、就活支援を専門とする①キャリアサポートを通じて準備した人が多くなり、対策方法を変えていました。

当日－第一クール

今年度の第一クールは、各課の職員による原課面接を複数回（2回程度）行った後、最後に採用担当者による面接がありました。原課面接は林野庁の職員が働く横で行われたので「慣れない環境だった」と感じた人もいましたが、全て1対1の面接であったためリラックスできた人がほとんどでした。また、面接時間は各20分程度で短いと感じた人が多く、待ち時間も（面接順にはよりますが）非常に短く、「一日かかると思っていたらお昼には終わったので驚いた」という声もあり、全体として良い印象で第一クールの終わられた様子でした。

訪問日は予約時に希望を出すことができますが、一日の受け入れ人数に限りがあるので希望通りに訪問したい方は早めに身上書を提出し、予約をしましょう。



▼第一クールの併願例

	1日目	2日目	3日目
Aさん	林野庁	環境省	国土交通省
Bさん	林野庁	環境省	原子力規制庁
Cさん	林野庁	環境省	
Dさん	林野庁	国交省	
Eさん	環境省	林野庁	
Fさん		林野庁	環境省
Gさん	環境省		林野庁

1日目に訪問した人の声：

1日目に訪問した10人全員が林野庁を第一に志望していました。また、「初日に訪問した方が志望度の高さをアピールできる」と考え、早めに身上書を提出した人もいました。実際、初日の訪問者からは「受験者がたくさんいて控え室で交流するのが楽しかった」という声もありました。状況によるとは思いますが、志望度が高いからこそお互い鼓舞し合い、緊張感を和らげたり情報交換ができる、というメリットもありそうです。

2日目以降に訪問した人の声：

2日目以降に訪問した理由として、以下のような意見が寄せられました。官庁訪問は、各省庁の業務内容や雰囲気を直接知る貴重な機会ですので、林野庁に少しでも興味のある方は積極的に官庁訪問に参加すると良いと思います。

- ✓ 初日は緊張すると思ったから。
- ✓ 初日は大学の予定や他省庁への訪問があったから。
- ✓ 身上書を提出するのが遅く、既に初日の定員が埋まっていたから。

併願をした人の声：

- 半数以上にあたる9人が他省庁の併願をしていましたが、賛否両論に分かれました。
- ✓ 他省庁でも自分の考えを整理して話すことになるので面接の対策、練習になった。
 - ✓ 他省庁について調べるので、多角的な視点で制度・政策を理解することに繋がった。
 - ✓ 他省庁の雰囲気を知る良い機会になった。
 - ✓ 他省庁と比較することで、林野庁に行きたい理由をより深く考えるきっかけとなった。
 - ✓ 精神的・体力的・金銭的な負担が大きくデメリットの方が多かった。
 - ✓ 事前準備に時間が掛かるので志望先が1つなら併願しない方がよかったかもしれない。
 - ✓ 他省庁が最終選考まで進んだ時の対応に困った。

当日－第二クール

第一クール終了後、林野庁から合格の連絡あった場合、第二クールに進むことができます。今年度の第二クールは、**複数（約4人）の面接官による20分程度の個人面接が1回**ありました。面接官の人数が多い分、1人と話す時間は短くなる一方、深い質問をされて回答に詰まった人も多くいました。面接会場は第一クールとは異なり、一般的な企業の面接のように会議室で実施されました。雰囲気は非常に厳かで、「緊張感があり怖かった」という感想がほぼ全員から聞かれました。待ち時間は第一クールと同様に比較的短い印象でしたが、人によっては2時間近く待つ場合もあるので、ある程度は心しておきましょう。

◎面接で心がけたこと

- ✓ ハキハキと大きな声で元気よく話すこと。
- ✓ 「入庁したい！」という思いを全面に出して、自分の思いを残すことなく伝えること。
- ✓ 堂々と、自分の伝えたいことをはっきりと要点を絞って分かりやすく伝えること。
- ✓ 面接時間が短いので、自分の考えややりたいことを簡潔に話すこと。
- ✓ 自分の経験を脚色しないようにすること。飾らずにいつも通りの自分を見せること。取り繕わず落ち着いて素直に答えること。
- ✓ 質問の意図を汲み取り適切な会話をする。面接官の方ときちんと対話をする。
- ✓ 一つ一つの質問に誠実に答えること。

◎反省点

<ul style="list-style-type: none">✓ 自己分析として一度に話しすぎた印象がありました。✓ 面接で発する一言一句にもっと気を使うべきでした。✓ 返答に時間がかかってしまった質問があったが、面接官の方が「ゆっくり答えて良いですよ。」と言ってくださったので答えることができました。	第一
<ul style="list-style-type: none">✓ 想像以上に焦ってしまいました。✓ 緊張しすぎて曖昧な受け答えをしてしまいました。✓ かなり緊張しました。言い間違いをしてしまうことがありました。✓ 面接官の方や雰囲気にのまれてしまいました。✓ 想定していなかった質問をされて／想定以上に深掘りをされて焦ってしまいました。✓ もっと要点を絞って話せばよかったです。✓ もっと自信をもって話せばよかったです。✓ 面接マナーをもう少し調べておけばよかったです。	第二クール

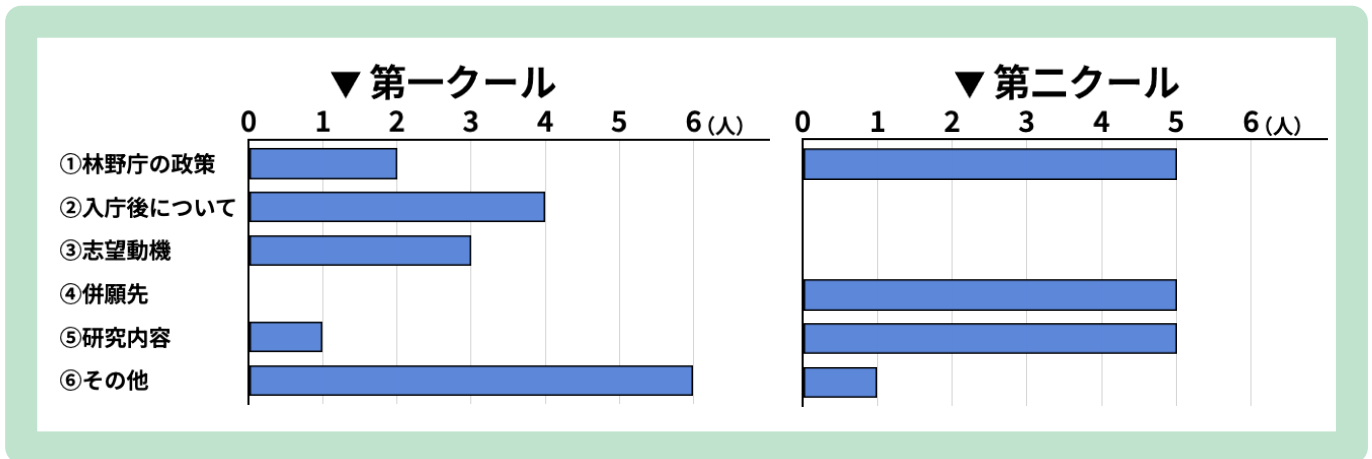
まとめとアドバイス

冒頭でも述べたように、第二クールでは面接官の人数が増え、さらに課長級の方々を前に自分の思いや考えを伝える必要があります。慣れない環境に緊張感が高まり、準備不足を感じたり、本領を発揮できなかつたと振り返る人が多くいました。

特に、**研究**に関する質問で、「想定以上に深掘りされて対策が甘かった」「卒論の内容が定まっていない時期で簡潔に説明できなかった」「学会やゼミで質問攻めをされている気分だった」のように多くの反省点が挙げられました。それぞれ反省はありますが、自分の思いをしっかりと伝えることができれば問題ありません！最後に、以下に気を付けるべきポイントをまとめました。

1. 準備は入念に : 想定質問（各課の情報をまんべんなく）＋逆質問への対策
2. 気を引き締めて : （特に第二クールは）緊張するものだと思っておくこと
3. 焦ったら深呼吸 : いくら対策をしても想定外の質問は来るので落ち着いて

当日－印象に残った質問



林野庁の政策：

- ✓ 環境譲与税についてどう思うか？
- ✓ カーボンニュートラルを実現したその先の展望をどのように考える？
- ✓ 森林サービス産業と林業を結びつける必要はあると思うか？
- ✓ 農林水産業とデジタル化についてどう考える？
- ✓ ペーパーレス化などが進む状況で、木材供給を増大させるメリットは何だと思う？
- ✓ 身上書に記載してある内容以外で林野庁の課題は何だと思う？
- ✓ 治山について逆に質問はある？

志望動機について：

- ✓ その課題に取り組みたい自分の根本にある考えは？
- ✓ 林野庁に興味を持った理由は？
- ✓ 趣味で行く山にで得られる知見とは具体的に何？

入庁後について：

- ✓ どのようなキャリアを歩みたい？
- ✓ 全国転勤や希望部署に配属されなくても大丈夫？
- ✓ 公務員としての心得や守るべき規範は何だと思う？

併願先について：

- ✓ 併願先の志望順位の理由は？
- ✓ 併願先の良いところは何？
- ✓ 併願先ではなく林野庁を選んだ理由は何？／両者の共通点と相違点は何？

その他：

- ✓ 自分の短所をどのように克服した？／どのように工夫して補うか？
- ✓ 前の面接官の名前と所属は覚えているか？
- ✓ 運転免許は持っているか？

まとめとアドバイス

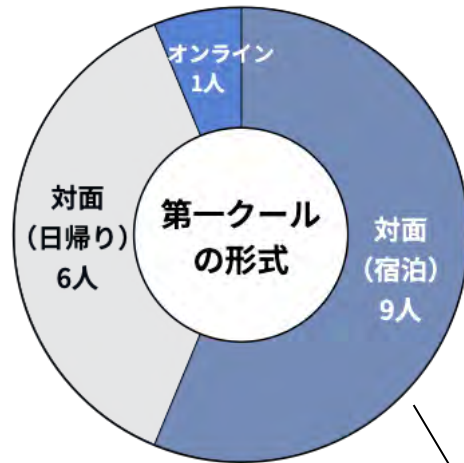
先にも述べたように、林野庁の面接は基本的に身上書に沿って行われます。そのため、質問される内容は人によって異なり、必ずしもここで挙げた質問が出るわけではありません。内定者の経験談はあくまで参考程度にとどめ、最後は身上書に書いた思いや考えを、自信をもって伝えることが大切です。自分を信じて頑張ってください！

コラム：地方からの参加者の声

官庁訪問では、地方から参加する場合であっても、移動や宿泊等に掛かる費用は**全額実費で負担**しなければなりません。しかし、従来は全て対面型のみで行われていた官庁訪問は、近年では遠方から訪問する受験者等の交通事情等を十分に勘案するとともに、受験者間の公平性を配慮した上で、希望に応じてオンライン型が積極的に活用されています。

林野庁の官庁訪問では、**第一クールのみオンライン型**を選ぶことが可能でした。以下の図のように、林野庁の内定者は過去2年を含め毎年、全国各地から参加しています。今年度も苦労話が多く挙がっていたので、内定者が選んだ第一クールの訪問形式、掛かった費用等、遠方から参加することを考えている受験者の方の参考になる情報を共有します。

▼ 出身大学の所在地

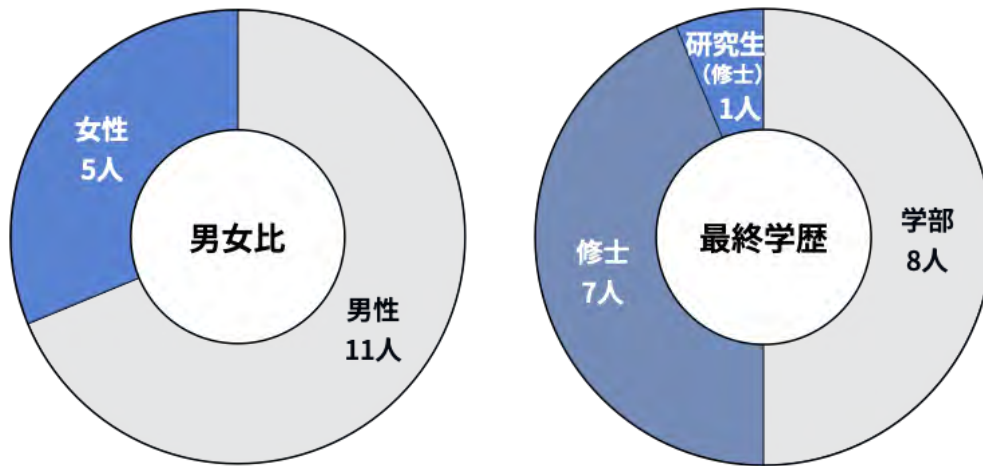


今年度の内定者16人のうち、全クール日帰りで対面参加できたのは関東に所在がある5人のみでした。地方からの参加者11人のうち、第一クールをオンラインで参加したのは東北（山形県）から参加した1人のみで、大半は事前に上京してホテルや実家などに宿泊し、第一クールから対面で参加していました。なお、2023年度は16人中4人が第一クールをオンラインで参加しており、昨年度よりは減少しました。

所在地	関東以外			
	関東	関東以外		
形式 (宿泊地)	対面 (日帰り)	対面 (実家等)	対面 (ホテル等)	第一クール：オンライン 第二クール以降：対面（実家等）
総額の概算	1万円以下	1~5万円	10~20万円	5万円
理由	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 対面の方が熱意が伝わると思ったから。 ✓ 緊張感を保てると思ったから。 ✓ 対面の方が話しやすいと思ったから。 ✓ 現場の雰囲気を感じたかったから。 ✓ インターネット障害等が怖かったから。 			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 費用が抑えられるから。
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 面接官の反応をダイレクトに感じやすい。 ✓ 官庁内や志望者の雰囲気がわかること。 ✓ 同じ志望者と仲良くなり、モチベーション向上に繋がったこと。 			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自宅から参加できるため、慣れない場所に行くことなど、面接に関わること以外の不安を持たなくて済むこと。
デメリット	—	なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 出費が痛い。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 通信トラブル発生時の不安。 ✓ 受験者の情報がわからない。

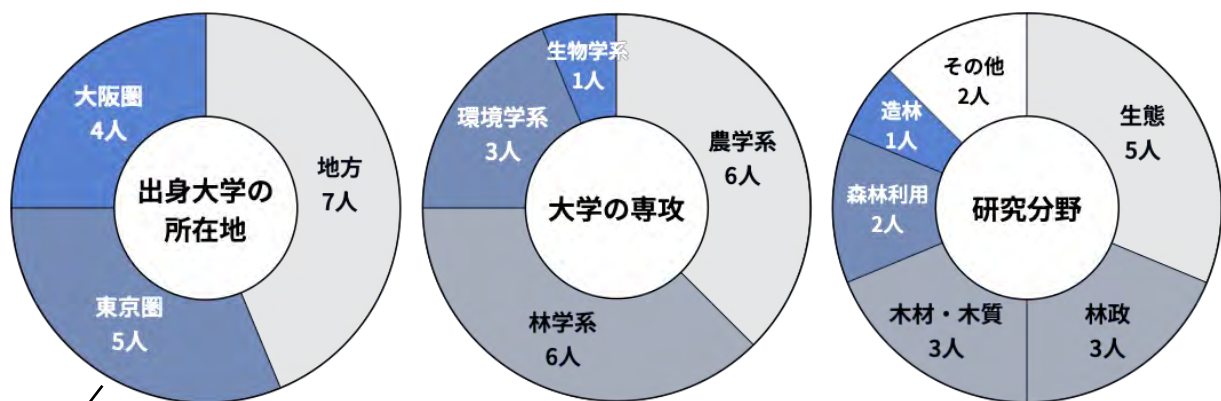
4 内定者情報

今年度の内定者16人の基本情報についてまとめました。年度によって採用人数は異なるものの、林野庁では性別や学歴、席次に関係なく人物本位の採用を行っています。今年度も全国からバックグラウンドの異なるユニークなメンバーが集まりました。



今年度の内定者は男性の割合が高く、女性の割合は31%となりました。過去の内定者の男女比（女性割合）は2023年度で50%、2022年度で38%と年度によって変動があります。

最終学歴は、院卒・学部卒が同数となりました。過去2年もほぼ同程度の割合で採用されているので、最終学歴については心配はいりません！

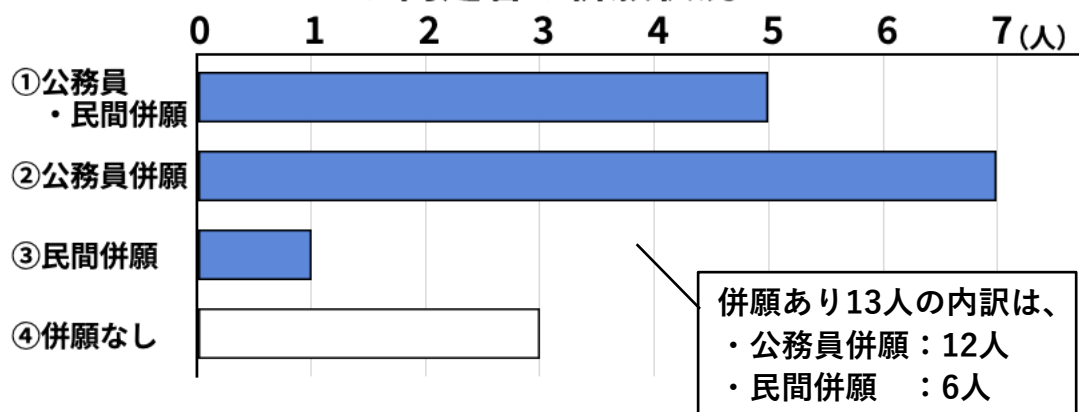


大学での専攻や研究分野は、農学や林学などの自然科学や政策が多いですが、大学院から専攻を変えた人や、独学で森林・林業分野を勉強した人もいます。林野庁の業務は、森林に関わる川上から川下まで、地域レベルから国内全体、国際連携まで多岐にわたるので、大学時代に学んだ内容はその一部に過ぎません。また、業務によっては森林・林業以外の知識や技術が求められることもあります。林野庁の業務に興味がある方、森林・林業・木材産業を盛り上げたいという思いのある方は、専攻に関わらず、ぜひ林野庁の官庁訪問に来てください！

併願について

就職活動では将来を左右する重要な選択を迫られます。限られた時間の中で、多くの選択肢から自分に合った就職先を決断をしなければなりません。今年の内定者も悩みに悩んで就職活動を進めていました。各業界を志望した理由や、その中で林野庁を選んだ理由を聞いてみました。

▼内定者の併願状況



◎公務員の併願先

国家総合職 (8人)	国家一般職 (4人)	地方自治体 (9人)
<ul style="list-style-type: none"> ・環境省 (7人) ・国土交通省 (3人) ・原子力規制庁 (1人) ・文部科学省 (1人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・林野庁 (4人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都庁 (4人) ・兵庫県庁 (3人) ・京都府庁 (2人) ・大阪府庁 (1人) ・宮城県庁 (1人) ・千葉県庁 (1人)

国家一般職は追加の対策が抑えられるため総合職の保険として併願する人が多いものの、過去2年と比較すると今年度は併願数が少ない傾向になりました。また、併願人数は地方自治体が最も多く、**大学で学んだ森林・林業分野を通じて地元を盛り上げたい**という理由から、出身や大学が位置する都道府県庁を併願する人が多い傾向になりました。

◎民間の併願先

林業関連 (4人)	林業関連以外 (4人)	その他 (2人)
<ul style="list-style-type: none"> ・木材系 (3人) ・製紙系 (1人) ・化学/素材メーカー (1人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小売り (1人) ・金融系 (1人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人 (1人) ・独立行政法人 (1人)

民間も林業関連分野を併願する人が多い傾向となりました。志望理由は、「**林業振興に向けた木材利用の推進や地球温暖化の課題解決に貢献したい**」から、木材・木質資源の利用といった川中～川下の業界が選ばれる傾向がありました。しかし、**民間企業や独立行政法人の雰囲気や仕事内容を知るために**、林業関連以外を併願した人もいました。

併願について

◎メリット

精神的な余裕が生まれる／リスクが軽減される：

- ✓ 精神的にゆとりを持っておくためにも併願はしておいた方がいいです。
- ✓ 気持ちに余裕を持たせることはかなり重要だと思います。
- ✓ 企業の内定を持った状態で官庁訪問に臨むことで、心に余裕を持つことができました。

就活の練習になる：

- ✓ インターン選考・本選考での面接の経験は人事院面接や官庁訪問でも役に立ちました。
- ✓ 私は民間の併願をしておらず、総合職の官庁訪問が初めての面接でした。林野庁の訪問前に志望度の低い省庁に訪問することで面接練習になって本当によかったです。
- ✓ 官庁訪問の前年度に総合職試験を受験していたので知識が抜けていた部分がありました。しかし、念のために地方公務員の林業分野を今年度に受験したことが結果的に復習になり、官庁訪問の対策にもなりました。

勉強になる／他業界を知ることができる：

- ✓ 併願に向けて様々な勉強をするため、多角的な視野で政策や制度を考える力が付きました。また、地方公務員の併願は国と地方の仕事の違いをより理解できました。
- ✓ 面接で色々な考えに触れることで、自分の考えを変えるきっかけになりました。
- ✓ 省庁によって雰囲気や全く異なるため、自分に合った職場を見つけるという点においても他省庁の官庁訪問をすることをお勧めします。

◎デメリット

準備に時間がかかる／両立が大変：

- ✓ 国家総合職の併願では一つの省庁にあてられる時間は限られるため、ある程度併願先の省庁に時間を割く覚悟が必要になると思います。
- ✓ 併願すると勉強や調べ学習に時間がかかるため、計画的に取り組む必要があります。
- ✓ 反省や改善点の反芻に十分な時間をかけられないこともあるため、常に先のことを読んでやるべきことを考え行動しないと、どれもが中途半端な結果になると感じました。
- ✓ 民間の併願では3月に企業の本選考が始まったため、国家総合職試験の勉強をしながら企業のエントリーシートを書いたり面接対策をすることになります。
- ✓ 民間企業と公務員の違いについて面接時に話せるように夏休みに大手企業のインターンシップにたくさん参加しましたが、公務員が第一志望だったので、もっと研究に時間を費やすべきだったと後悔しています。

体力的にも精神的にも疲弊する：

- ✓ 他省庁の官庁訪問に行っていましたが、面接時間が長く疲弊してしまいました。
- ✓ 自分自身のメンタルや体調管理など注意すべきことが多くありました。
- ✓ 併願のため（第一志望ではないため）就活へのモチベーションが上がらず、上手くいきにくいと感じました。

まとめとアドバイス

併願にはメリット・デメリットの両面があり、そのバランスをうまく取ることが重要です。今年度の内定者も、併願を通じて得られたものや失ったものがあつたと振り返っています。先輩たちの経験や声を参考にしながら、自分の優先順位や価値観に合った計画を立ててください。

併願について

◎併願先の中から林野庁を選んだ理由

国全体を対象に（規模の大きい）仕事がしたい／政策づくりに携わりたい：

- ✓ 取り組む規模が県庁よりも大きいため、私のやりたいことの根本的な解決に繋がると思ったからです。
- ✓ 政策の企画・立案を通じて日本全体の森林・林業の基盤整備に関わる、という課題解決のアプローチは林野庁でしかできなかったからです。
- ✓ 国全体、そして海外の森林に関わる業務に携わりたかったので、林野庁が最も適していると考えました。

川上から川下まで幅広い業務：

- ✓ 日本全体の森林を対象に、現場で森林を身近に感じながら見つけた課題を政策に反映させることができる点に魅力を感じたからです。
- ✓ 森林資源の循環利用について川上から川下まで一貫して関わるができるからです。
- ✓ 幅広い視点から業務に携わることができ、自分自身が成長できると感じたからです。

社会－環境問題への取組み：

- ✓ 森林・林業・環境という問題は社会の課題に対して密接に影響するものであり、それらに総合的に携わりたいと考えたからです。
- ✓ 林野庁では、森林整備を通じて気候変動や生物多様性の課題解決にも貢献することができるからです。

まとめとアドバイス

林野庁の業務は、国土の3分の2を占める森林に関わるあらゆる分野に広がっています。森林に求められる機能が多様化する現在、林野庁を選んだ理由も人によってさまざまです。だからこそ、自分自身の目標を明確にし、計画的に進めることが大切です。

- ・ 将来、自分は何をしたいのか？
- ・ 自分のやりたいことが林野庁（その志望先）で実現できるのか？
- ・ そのためには、どんな準備が必要なのか

これらを逆算して計画的に進めることで、自分に合った選択や進むべき道が見えてくるはずです。

また、学生時代は自分を成長させる貴重な経験ができる時間です。就職活動において、エントリーシート、面接練習などの準備はもちろん重要ですが、自分自身をアピールする材料となるのは、研究や部活動、アルバイトといったコミュニティにおける独自の経験から養われていくものも多くあります。今後、これまでの活動が役立つ場面が将来必ず訪れます。就職活動だけに専念するのではなく、学生時代ならではの活動も大切にしてください。

就活・学業・大学生活のバランスをうまく自分の中で見つけ、悔いの残らないように取り組んでください。応援しています！

5 内定者プロフィール

今年度の内定者に、専攻や試験区分などの基本情報をはじめ、林野庁を志望した理由、ガクチカ、自身のセールスポイント、就活中の辛かった時期の乗り越え方や失敗談など、就職活動全般、特に官庁訪問に役立つ情報を聞いてみました。ぜひ、参考にしてください！

▼プロフィールの記載例

プロフィール 写真

【自己紹介文】

- ・プロフィール写真の説明
- ・趣味や好きなこと
- ・研究関連 etc.

- ① 出身地／性別
- ② 最終学歴（試験年度*1）
- ③ 試験科目（院卒区分*2）
- ④ 大学の専攻
- ⑤ 研究分野
- ⑥ 併願状況

◎ 志望動機：[興味のある林野庁の業務](#)

【学生時代に力を入れたこと】

【セールスポイント】

【就活で最も辛かった時期の乗り越え方】

【就活の失敗談】

*1. 試験年度が2024年度以外の場合のみ記入（前年：2023年度、前々年：2022年度）

*2. 院卒区分で受験した場合のみ記入

プロフィールのポイント

内定者たちの背景は**出身地**や**専攻**、**興味関心**といった点で非常に多様であり、**志望動機**も人それぞれ大きく異なります。そのため、自分に合った、自分に似た考え方を持つ人を見つけ、その経験を就職活動の参考にしてみてください。

また、内定者には「**興味のある林野庁の業務**」を3つまで挙げてもらいました。「林野庁＝林政」のイメージを持つ方も多いかもしれませんが、予想以上にやりたい業務・携われる業務は多岐にわたります。この機会に林野庁の業務についてもぜひ調べてみてください。

ガクチカや**セールスポイント**は、これまで取り組んできたことを入庁後にどう活かせるか、つまり自己PRのポイントになります。今年度の内定者は、部活動やアルバイト、趣味など、内定者同士もお互いに知らないようなユニークな取り組みをしてきた人が多く、非常に驚きました。また、**就活の失敗談**や**辛かった時期の乗り越え方**など、「次年度以降の受験生の方に、これだけは伝えたい！」という内容も掲載しているので、ぜひ参考にしてみてください！



実習でキノコ狩りをした時に
見つけた一番可愛いきのこで
す！落ち葉を持ち上げて生え
る姿に生命力を感じます♡

- ① 岩手県／女性
- ② 学部4年
- ③ 森林・自然環境
- ④ 食料生命環境学科
- ⑤ 森林社会学研究室
- ⑥ 国家一般／宮城県

◎ 志望動機： [国有林野の管理経営](#) [林政](#) [木材産業](#)

卒業研究を通して日本の森林の実態を目の当たりにしたことで、管理放棄が深刻な現状を変えたいと思うようになりました。一地方で働くよりも、国全体に影響を与えるような施策の立案や実施に関与する方がより効果的であると考え、林野庁を志望しました。

【学生時代に力を入れたこと】

大学の部活動で競技ダンスに打ち込んできました。競技ダンスは二人で踊るスポーツであり、意思疎通が欠かせません。徹底した自己分析を基に踊りの方向性を自己プロデュースし共有するサイクルを繰り返した結果、2年間で5回全国優勝をすることができました。

【就活で最も辛かった時期の乗り越え方】

一次試験直前が一番辛かったです。元々部活動中心の生活を送っていたため12月まで全く勉強をしていませんでした。遅れを取り戻すため一日12時間研究室に閉じこもり勉強しました。ストレッチや休憩の時間を設け、メリハリをつけることで継続することが出来ました。



ペットと過ごす時間がとても
好きです。家で勉強すること
が多く、疲れた時はペットに
たくさん癒してもらいました。

- ① 千葉県／女性
- ② 修士2年
- ③ 森林・自然環境（院卒）
- ④ 森林科学専攻
- ⑤ 森林圏生態学研究室
- ⑥ 環境省／東京都／千葉県
一般社団法人

◎ 志望動機： [生態系保全](#) [生物多様性](#) [海外林業協力](#)

大学で学んだ知識や経験を活かし、森林の多面的機能発揮のための森林整備や生物多様性の保全、鳥獣対策に向けた現場での森林管理だけでなく、日本全域での政策づくりに取り組みたいと考え、林野庁を志望しました。

【学生時代に力を入れたこと】

学部入学時から所属していた環境団体にて、学部3年時に副委員長としてイベントの開催に尽力しました。地域の生花店の店主を講師としてお招きし、団体内の学年を超えた交流と同時に、地域との結びつきにも貢献することができました。

【就活で最も辛かった時期の乗り越え方】

官庁訪問前が一番辛かったです。春季に研究のための調査に行く必要があったため、フィールドワークの翌日に民間の面接、その翌日にフィールドワークの予定が入った時はとても大変でした。しかし、気力でなんとか乗り越えました！



研究フィールドの写真です！
 八甲田のブナ林は四季ごとに
 景色が異なり、特に冬は一面
 銀世界で美しいです！

- ① 青森県／女性
- ② 学部4年
- ③ 森林・自然環境
- ④ 生物学科
- ⑤ 森林生態学研究室
- ⑥ (併願なし)

◎ 志望動機： **生態系保全** **生物多様性** **林政**

大学で生物学全般と特に森林生態学を学んだことで、学びを活かした仕事に就きたい、大規模な森林に関わりたいという思いがありました。林野庁に就職した研究室の先輩からお話を伺ううちに、林野庁で森林保全や健全な木材利用に貢献したいと考えるようになりました。

【学生時代に力を入れたこと】

学生時代に一番力を入れたことは、研究以外だとアルバイトです。私の大学生活は留学などの特に目立ったイベントは無くアピール出来ることは無いように思われますが、アルバイトから得られることも多かったです。

【就活で最も辛かった時期の乗り越え方】

試験の前日はとにかく緊張しました。今までやってきたことが本番で発揮できるのか、勉強不足・練習不足だったのではないかと不安になりました。ですが、試験や面接が始まったら意外と落ち着きますし、徐々に自分のペースに戻っていきます。意外と大丈夫です！



学会に参加した際に発見した
 木製の麻雀碑です！趣味で麻
 雀を嗜んでおり、就活の息抜
 きによく雀荘に行きました。

- ① 鹿児島県／男性
- ② 修士2年
- ③ 森林・自然環境 (院卒)
- ④ 農林資源科学専攻
- ⑤ 森林政策学研究室
- ⑥ (併願なし)

◎ 志望動機： **国有林野の管理経営** **林政** **木材産業**

大学及び大学院で学んだ森林に関する知識を活かし、日本全体の森林・林業に関する施策の企画・立案に携わることが可能な点、国有林を舞台に自らも経営者となって施策を考えるという点に魅力を感じたため、林野庁を志望しました。

【学生時代に力を入れたこと】

実際に林業が行われている現場に赴き、そこで働いている方々から現場における課題や対応について聞くことに力を入れました。現場に赴いたことで、論文や本を読むだけでは身につかない知識や経験を得ることができました。

【セールスポイント】

計画性と責任感には自信があります！大学生活を送る中で、自身の研究調査計画を立てたり、研究室やサークルの幹事として企画を進めたりし、それらを確実に遂行してきたことが自信につながりました。



長野県と山梨県境に位置する
の金峰山です！趣味が登山な
のですが、金峰山はかなり
オススメです！！

- ① 埼玉県・男性
- ② 学部4年
- ③ 森林・自然環境
- ④ 森林科学科
- ⑤ 森林植生学研究室
- ⑥ 国家一般／京都府 他

◎ 志望動機： **研究指導** **生態系保全** **森林整備**

ナラ枯れやマツ枯れ、シカやクマなどの森林被害を減少させたいと思い、林野庁を志望しました。普段山に登っていると森林被害がかなり多く見られるため、多面的機能の低下や木材価値の低下など、日本の森林が抱える多くの課題を解決したいと考えています。

【学生時代に力を入れたこと】

樹木の葉を見て樹種同定ができるようになったことです。スギやヒノキなど身近な樹種の同定から始め、次第にクリ・クヌギ・アベマキの識別、ケヤキ・ムクノキ・エノキの識別などレベルを上げ、最終的には後輩に教えられるレベルまで成長しました。

【セールスポイント】

私は三度の飯より山登りが大好きで、毎週末は山に行っています。登山スタイルは低山から高山まで、日帰りからテ泊縦走まで幅広く行っているので、体力と根性には自信があります！



身内で使う似顔絵です。

- ① 京都府／男性
- ② 学部4年
- ③ 森林・自然環境
- ④ 環境管理学科
- ⑤ 森林資源学研究室
- ⑥ 京都府／木材系

◎ 志望動機： **木材利用** **森林整備** **林政**

木材利用と環境保護を両立したカーボンニュートラルな社会の構築に向けて、円滑な木材流通と新たな需要の創出による木材利用の拡大や、持続的な森林経営に携わりたいと考え、林野庁を志望しました。

【セールスポイント】

毎日片道3kmの山道を歩いて通学しているので、体を動かすことが得意です。また、趣味はインターネットなので、入庁後の業務で両方の力を活かせるように、さまざまな経験を積みたいと思っています。

【就活で最も辛かった時期の乗り越え方】

筆記試験と面接に向けて対策しなければならない項目が多かったので、部分的に攻略することでモチベーションを維持していました。特に、筆記試験では得意分野を定期的に勉強することで、苦手分野のダメージを相殺していました。



ワシントンのレーニア国立公園の写真です。日本と異なる進化を遂げた植物や、念願の氷河を見ることができました。

- ① 千葉県／男性
- ② 修士2年
- ③ 森林・自然環境（院卒）
- ④ 環境園芸学専攻
- ⑤ 緑地生態学研究室
- ⑥ 環境省／東京都

◎ 志望動機：[国有林野の管理経営](#) [生態系保全](#) [生物多様性](#)

森林資源の循環利用に取り組み、自然・生活・経済の健全性の向上に貢献したいと考え志望しました。林野庁では、川上から川下まで、また地方での作業から本庁での政策の立案まで、様々な側面から森林や林業に貢献できる点に魅力を感じました。

【学生時代に力を入れたこと】

学生時代は研究に最も力を入れました。私は、約3万年前から現在までの植生の変化及び気候変化に関する研究を行いました。研究成果を学会で口頭発表した際には優秀発表賞をいただき、自分の研究分野に誇りを持つことができました。

【セールスポイント】

私はリーダーシップがあります。大学で所属していたサークルでは部長を務め、コロナ禍を乗り切ることができました。部員によって活動に対する熱量が異なり大変な部分もありましたが、部を存続させるという目標を示すことで、一体感を維持することができました。



絶壁に建設された三徳山三佛寺の投入堂です。国内外問わず、自然のアクティビティを今後もトライしたいです！

- ① 神奈川県／女性
- ② 修士2年（2023年度）
- ③ 森林・自然環境（院卒）
- ④ 農学専攻
- ⑤ 地理情報学研究室
- ⑥ 環境省／東京都

◎ 志望動機：[海外林業協力](#) [地球温暖化対策](#) [木材利用](#)

川上から川下まで森林に関わる幅広い業務に携わることで将来世代に健全な森林の姿を残したいと思い、林野庁を志望しました。途上国支援や地球温暖化対策など、国際的な取り組みにも携われる機会があり、気候変動や生物多様性の問題にも貢献できる点も魅力的でした。

【セールスポイント】

国際交流に興味があり、大学では東南アジアやアフリカからの留学生と積極的に交流しています。会話を通じて培った語学力、意見の発信力、多様性への理解力を活かして、国際的な森林政策に関わることで気候変動や生物多様性の問題解決に貢献したいです。

【就活で最も辛かった時期の乗り越え方】

国家総合職試験の二次試験、学会発表、修論中間発表が被った時は精神的にかなりキツかったです。結果、ストレスを溜めて体調を崩してしまったので、早めの計画的な準備をオススメします！（絶対後悔したくない、という強い気持ちで辛い時期を乗り越えました。）



写真を撮ることが趣味です。
これは徳島にある湿原の写真
です。サギソウが有名な場所
でお気に入りのスポットです。

- ① 京都府／男性
- ② 学部4年
- ③ 森林・自然環境
- ④ 森林科学科
- ⑤ 木質生化学研究室
- ⑥ 環境省／国家一般 他

◎ 志望動機： **森林整備** **林政** **木材利用**

親戚が林業に携わっていたことに加え、大学で森林について学んだので森林に関わる仕事をしたいと考えていました。日本の森林が抱える課題を学ぶ中で、特に森林整備に興味を持ったため林野庁を志望しました。大学で学んだ知識を活かせることも志望理由の一つです。

【学生時代に力を入れたこと】

学生時代は特に塾の講師としてアルバイトをすることに力を入れました。生徒の個性や得意・不得意に合わせて柔軟に講義ができるように工夫しました。どのような工夫をすればわかりやすい講義になるかを常に考え、改善を積み重ねました。

【就活で最も辛かった時期の乗り越え方】

就活では官庁訪問が一番ハードでした。関西出身で官庁訪問期には頼れる人があまりおらず、不安を感じるが多かったです。連日の面接で疲弊していたものの、趣味の写真撮影をモチベーションに乗り越えました。好きなことで気分転換をすることが重要だと思います。



北海道赤岳の写真です。
広葉樹の紅葉と、トドマツや
ハイマツなどの針葉樹の緑色
が織りなす美しい景色でした。

- ① 岡山県／男性
- ② 修士2年
- ③ 森林・自然環境（院卒）
- ④ 農学専攻
- ⑤ 造林学研究室
- ⑥ 国家一般／岡山県／木材系

◎ 志望動機： **地球温暖化対策** **森林整備** **山村振興**

幼少期から森に興味があったため森林・林業に関わることができる仕事がしたかったことや、林野庁のインターンシップを通じて森を守って活かしていく基盤作りに貢献したいと思ったため、林野庁を志望しました。

【学生時代に力を入れたこと】

研究活動に力を入れてきました。気候変動下での樹木の応答に興味があり、温暖な環境下での広葉樹と針葉樹の光合成に関する研究を行いました。これまで樹木では考えられてこなかった新たなリスクを検証するため、実験方法の改良と新たな評価指標の検討を行いました。

【就活で最も辛かった時期の乗り越え方】

林野庁の内々定が出るまでが一番不安な時期でした。第一志望は林野庁でしたが、先に内々定をいただいた民間企業に落ち着きたくなり、揺らいだこともありました。友人に相談したことで自分のやりたいことを再認識することができ、モチベーションが向上しました。



名古屋にあるレゴランドの
クリスマスツリーです！卒業
前に訪れたかった場所の一つ
でやっと念願が叶いました。

- ① 長野県／女性
- ② 学部4年
- ③ 森林・自然環境
- ④ 生物環境科科学科
- ⑤ 生物システム工学研究室
- ⑥ 国交省

◎ 志望動機： **国有林野の管理経営** **木材産業** **木材利用**

大学で学んだ内容と業務内容が重なる部分が多かったため、林野庁に興味を持ちました。本庁のインターンシップに参加し、実際に職場の雰囲気や具体的な業務内容を知ったことで、「ここで働きたい！」と強い思いを持つようになりました。

【就活で最も辛かった時期の乗り越え方】

一次試験の約半年前から内々定をいただくまでが辛かったです。大学院に進学する同期がほとんどの中、一人で試験対策をするのは孤独を感じました。私は大学の公務員講座を受講していたので、講師の先生に漠然とした悩みを聞いてもらって寂しさを発散していました。

【就活の失敗談】

試験勉強を始めて間もない時期は人文科学や社会科学など専門外の科目も勉強していましたが、当初から数的処理や文章理解など配点が高く取り組みやすい科目を集中して勉強しておけばよかったと思います。



今年度に収穫した新米の写真
です。稲刈りの時期には祖父
母の暮らす山村を訪れ、様々
な作業を手伝っています。

- ① 埼玉県／男性
- ② 学部4年
- ③ 森林・自然環境
- ④ 森林資源科学科
- ⑤ 森林共生学研究室
- ⑥ (併願なし)

◎ 志望動機： **山村振興**

我が国の豊かな森林環境や美しい山村風景を将来世代へ持続的に継承していくための仕事がしたいと思い、林野庁を志望しました。

【学生時代に力を入れたこと】

大学での学習や日常生活を送る中で山村の重要性を知る機会が多く、プライベートでも様々な山村を訪れることに力を入れてきました。

【就活で最も辛かった時期の乗り越え方】

国家公務員総合職試験の一次試験が終了してから二次試験前までは、試験勉強の疲れもあり精神的に一番辛かった時期でした。しかし、オートバイに乗ったり、自然を散策したりと自分が一番リフレッシュできる方法で乗り越えました。



8月に撮影した五山送り火の
大文字です。20年以上住んだ
京都を離れるので、しっかり
と目に焼き付けました。

- ① 京都府／男性
- ② 修士2年
- ③ 森林・自然環境（院卒）
- ④ 森林科学専攻
- ⑤ 森林・人間関係学研究室
- ⑥ 化学・素材メーカー

◎ 志望動機：[治山](#) [林政](#) [山村振興](#)

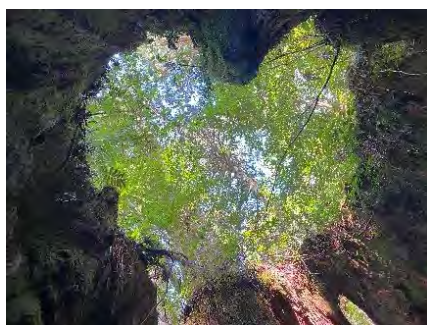
法整備や補助金等の政策を通して、森林所有者や事業者に対する支援を行うとともに、近年の木造化推進のような需要創出の取組によって、川上から川下まで全てを対象とした林業の発展に貢献したいと思い林野庁を志望しました。

【就活で最も辛かった時期の乗り越え方】

企業の内々定をいただき早く就活を終えてしまいたいという気持ちが芽生え、試験へのモチベーションが低下してしまいました。ただ、就職先を考え始めた時に一番最初に考えた候補が林野庁だったことを思い出し、その直感を信じてみようと思いをなおすことができました。

【就活の失敗談】

官庁訪問第一クールの際にネクタイを忘れてしまったことが一番の失敗です。クールビズ期間なのでノーネクタイで大丈夫だろう、と開き直って面接に臨み内々定はいただけたものの、焦りは緊張の原因になるので事前に持っていくものは確認しておきましょう。



屋久島のウィルソン株です。
切り株の中から見上げると、
ハート型になって見えます！

- ① 愛知県／男性
- ② 修士2年
- ③ 森林・自然環境（院卒）
- ④ 森林科学専攻
- ⑤ 林政学研究室
- ⑥ 環境省／国交省
木材・製紙系／銀行系

◎ 志望動機：[国有林野の管理経営](#) [林政](#) [木材利用](#)

当初から第一次産業に携わりと考えており、中でも自分の専攻分野に近いことや、やりがいのある分野であると感じたことから、林野庁を志望しました。

【就活で最も辛かった時期の乗り越え方】

官庁訪問と研究が重なった時期が一番辛かったです。友達とご飯に行き愚痴を聞いてもらったりするなどして、辛い時期を乗り越えることができました。

【就活の失敗談】

私は、民間企業の就職活動が中途半端になってしまいました。もし民間企業への就職も考えている方がいたら、就活仲間を見つけると流れに乗れて良いと思います。



友人と登山をした際に富士山が綺麗に見えた写真です。
自然の中での活動が趣味で、休日は釣りや登山に来ます。

- ① 埼玉県／男性
- ② 学部4年
- ③ 森林・自然環境
- ④ 農学科
- ⑤ 動物遺伝資源学研究室
- ⑥ 環境省／文科省／東京都
独立行政法人／小売り

◎ 志望動機：[生態系保全](#) [生物多様性](#) [地球温暖化対策](#)

登山や生物観察など自然の中で活動することが多く、日本の豊かな自然環境、とりわけ森林環境に関わる仕事に携わりたいと考え、日本の森林に幅広い視点から関わることのできる林野庁を志望しました。

【学生時代に力を入れたこと】

高校時代の山岳部での活動や大学の学業においてゴールから過程を逆算し、今やるべきことを考える力を養いました。また、取り組んだことはやりきるメンタルや能力も磨いてきました。この二つの力は今の自分にとって非常に大きな強みになっていると感じています。

【就活の失敗談】

就職活動初期に民間企業の面接を受けた際は、不安や心配が口調や態度に出てしまい、雰囲気としてもあまり良くないものになってしまいました。そのような時は大抵良くない結果になります。試験や面接においては、自分自身に対する自信を持つことが大事だと思います。



修論の調査地である支笏湖の写真です。

- ① 大阪府・男性
- ② 修士2年（2022年度試験）
- ③ 森林・自然環境
- ④ 農学専攻
- ⑤ 森林政策学研究室
- ⑥ 環境省／大阪府／兵庫府

◎ 志望動機：[国有林野の管理経営](#) [生態系保全](#) [山村振興](#)

大学で学んだ森林・林業分野に貢献したいと考え、林野庁を志望しました。日本の美しい森林の価値を維持するため、林道整備や林業生産活動の効率化、地域交通の改善といった林業の活性化に取り組みたいです。

【セールスポイント】

人の懐に入り込むのが上手いことです。大学院から社会人テニスサークルに入っており、サークルのメンバーからご飯をご馳走様になったり、練習の時には送迎してもらったりなど大変良くしていただきました。

【就活の失敗談】

面接であがって関西人の血が騒ぎ、ウケを狙ってしまいました。しかし、緊張も相まって全く面白いことが言えませんでした。「一番の挫折した経験を教えてください。」と聞かれた時に「うーん、捻挫ですかね笑」と答えてしまったあの日のことは今でも夢に出てきます。

就活を頑張っている皆さんへ

最後に、就活や研究で辛い時期や不安な時期に少しでも気持ちが軽くなることを願って、本年度の内定者から頑張っている皆さんに向けて激励の言葉を送りたいと思います。

皆さん、研究や就活との両立で忙しく、情報収集に追われることになるとと思います。そんな時はあまり抱え込み過ぎずに、身近な人や研究室の先生を頼って乗り越えていきましょう！

公務員試験は長丁場でモチベーションの維持が大変だと思います。しかし、やりたいことや自分の考えを整理する良い機会にもなります。悪いことばかりではないので、ポジティブにいきましょう！ (S. T.)

不安も多いと思いますが、受かる時は受かります。面接では深呼吸をしてからゆっくりと周りを見渡し、背筋を伸ばして口角を上げてください。面接官はきちんと評価してくれるので、本来の自分で頑張ってください！

(M. K.)

焦らず冷静かつ確実に必要な要素を抑えることが重要です。そこさえ徹底すれば、たとえ準備期間が短くとも合格することが可能です。自分を信じて頑張ってください！

(A. G.)

私は公務員志望でしたが、自分の可能性や見識を広めるために民間企業や独立行政法人も受けました。公務員と民間の併願は就活期間が長く、やることも増えます。しかし、その挑戦は必ず大きな力になるので、併願する方がいたらぜひ頑張ってください！

多くの面接を受けた経験から、就職活動において一番重要なことは「自分自身を信じ、自信を持って臨むこと」であると思います。この言葉を頭の片隅に置いて、緊張した時や不安になった時に思い出してみてください。皆さんの就職活動を応援しています！

(S. S.)

就活が辛いのはそれだけ真剣に取り組んでいるからだと思います。十分努力をしているはずなので、あとは少し余裕があれば完璧です。思い切って一日完全オフにして、おいしいご飯でも食べたりしてみてください。次の日からまた頑張ればいいんです。

どんと構えて、自分らしくいることが就活では一番大切だと思います。

(R. O.)

焦ったり不安になったりすることがあると思います。そんな時は一人で抱え込まず、友達に相談したり愚痴を言ったりすることが一番良いと思います！

同期や先輩方は良い人ばかりだったので、林野庁は良い職場環境だと思います。皆さんと会えることを楽しみにしています！

(R. N.)

一人で抱え込み過ぎず、辛くなったら友人や家族、キャリアサポートの方など周囲の人に話してみてください。将来を決める上で就活は大事ですが、大学時代にしかできないことはたくさんあります。私は、楽しみながらやりたいことを見つけ、その経験から培ったものを就活にぶつけることで、自分に合った就職先がきっと見つかるはず！と信じて乗り切りました。自分を信じて頑張ってください。応援しています！ (R. O.)

公務員試験は森林・林業の専門分野からも多く出題されます。皆さん興味のある分野だと思うので、まずは焦らず楽しみながら、取り組んでみてください。

(Y. M.)

大学生、特に院生の方は研究や調査で余裕が無くなっているかもしれません。何か息抜きの方法を見つけて頑張りが過ぎず頑張ってください。

(K. F.)

一次試験から官庁訪問までモチベーションを保つことが大変になると思います。根詰め過ぎずに息抜きと勉強のメリハリを意識すると燃え尽き症候群になりにくい気がします。頑張ってください！

(K. T.)

どんなに辛い時も自分を信じて頑張ってください！応援しています！

(Y. S.)

公務員は試験が大変であることや、民間企業より内定時期が遅いことなど、精神的に辛くなる時があるかもしれません。しかし、大学で学んできた専門知識を活かし、社会を支えることのできるやりがいのある仕事です。

林野庁でしかできないこともたくさんあるので、体調に気を付けて頑張ってください。(N. I.)

公務員試験に官庁訪問、世に出回る情報が少ない中で対策をすることは怖く、不安だと思います。私自身、この方法で対策を続けていいのか、これまでやってきたことが無駄になったら...とネガティブに考えてしまう瞬間が多くありました。しかし今振り返ると、一番大切なのは「この省庁で働きたい!」という強い信念を持ち続けることだと思います。

省庁に関する知識はいくら掘り下げてもきりがありません。これまで学んだこと、これから取り組みたいこと、そして何よりも自分を信じて頑張ってください!(E. N.)

私は他大学の大学院に進学したこともあり、周囲は留学生や進学される方が多く身近に就職活動をしている方がいませんでした。自分のペースで準備できた点はよかったのですが、すぐに相談できる方がいなかったため、孤独感や不安が大きかったです。そのため、家族や大学のキャリアサポート、学部時代の研究室の先輩や友人、他研究室のOB・OG等、様々な方に積極的に就活の相談をしてアドバイスいただき、一人で抱え込まないようにしていました。私のように周囲に公務員志望の方がおらず不安な方もいると思いますが、大丈夫です。準備期間は一人で不安かもしれないですが、試験会場に着いたら同じ志の方がたくさんいるので安心してください!

また、研究との両立も大変だと思います。私は山でフィールド調査を行っていたので、特に官庁訪問前は怪我をしないように心がけていました。忙しいと体調不良に気が付きにくいですが、違和感を感じたら後回しにせず、早めに病院に行ってください。

そして、就活も大切ですが、学生としての時間も大切です。家族や友人と過ごす時間も有限なので、辛くなったらこれから頑張るための準備だと思ってゆっくり休んでください。(A. T.)

限界まで追い込んで試験や官庁訪問に臨んでいる方が多いと思います。個人的にはそういったギリギリな状況も好きですが、やはり心の余裕というものも軽視してはいけません。適度に力を抜いてリラックスしてもいいんじゃないかなと思います。

落ち着いて素直に取り組めば、自ずと結果はついてきます。頑張ってください。(T. K.)

これを読んでいるということは林野庁に興味を持っているということだと思います。林野庁はとても面白い場所だと思いますので、ぜひ勉強や面接対策を乗り越えてお会いできたらと思います。体調に気をつけて頑張ってください!(D. I.)

6. おわりに

最後まで読んでいただきありがとうございました。いかがでしたでしょうか?少しでも皆さんの不安や疑問を解消することができていたら嬉しく思います。

冒頭でも触れたように、本冊子の内容は内定者の主観や経験に基づく一つの事例に過ぎません。私たち内定者からの声は、あくまで一個人の意見として参考に留めていただき、自分自身が最善だと思う方法で就職活動に取り組み、納得できる就職先を見つけてください!

また、本冊子は林野庁の業務については詳しく触れておりません。林野庁のHPや説明会を活用して積極的に情報収集を進めていただければ幸いです。

いつか皆さんにお会いできる日を、内定者一同、心より楽しみに待っております。

2024年度 林野庁総合職(技術系)内定者一同